

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 30 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 5 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 6 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 6 名、留学生 2 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 3 件、国際会議 3 件、会議報告 9 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	A Framework of Learner Development Ecosystem for Designing a Ubiquitous Educational Informational Infrastructure	Hai Zhang, Takanori Maesako	2009/4/1	Journal of Software	4, 2, 124-131
学術論文	Practical Research of Education and Brain Science	Naoko Okamoto, Takanori Maesako	2009/9/1	Brain Topography and Multimodal Imaging	133-135
国際会議 (proceedings あり)	Applying High-Definition "HyperMirror" to Distance Learning Utilizing "KIZUNA"	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Hideki Mori, Takanori Maesako, Osamu Morikawa, Masahiro Nakao, Naoya Tomii, Tomonori Kuroda, Tetsuo Sato, Teruo Kawasugi, Gousei Hashimoto	2009/7/1	27th International Symposium on Space Technology and Science	2009-j-19p, 1-6
国際会議 (proceedings あり)	和教育現場持続対話的学習型組織的可能性	張海, 前迫孝憲	2009/8/1	信息技术教育研究進展 2009:第三回 中日教育技術 学研究与發展 フォーラム論文 集	234-238

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Innovative Educational Technology Use and Project-Based Learning in Japan	Spence Zaorski, Takanori Maesako	2009/6/1	National Educational Computing Conference 2009	
会議報告/口頭発表	算数課題を用いた光脳機能イメージング実験	岡本尚子, 前迫孝憲	2009/7/1	第11回日本光脳機能イメージング研究会抄録集	13
会議報告/口頭発表	視覚・聴覚メディアが理解や判断に及ぼす影響	辻岡圭子, 辻岡光宏, 前迫孝憲	2009/8/1	教育システム情報学会第34回全国大会講演論文集	406-407
会議報告/口頭発表	米国における教育 CIO に関する調査	ゼオースキ スペンス, 前迫孝憲	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	129-132
会議報告/口頭発表	電子掲示板を用いた英語によるコミュニケーションに関する調査－国際交流学習プロジェクトを事例として－	奥林泰一郎, 中澤明子, スペンス ゼオースキ, 上田明久, 新川壯光, 前迫孝憲	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	839-840
会議報告/口頭発表	光計測装置による脳活動データ波形の分析	岡本尚子, 黒田恭史, 前迫孝憲, 江田英雄	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	965-966
会議報告/口頭発表	個々人の学習を下支えする隠れたICTの活用－シンガポールの教育制度を事例として－	黒田恭史, 岡本尚子, 前迫孝憲, 江田英雄	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	951-952
会議報告/口頭発表	特別支援教育における社会科単語学習支援の教材開発	笹田能美, 小池敏英, 前迫孝憲, 伊原和夫, スペンス ゼオースキ	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	935-936
会議報告/口頭発表	Scratch を用いた小学校情報授業のデザインと実践	森秀樹, 杉澤学, 張海, 前迫孝憲	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	671-672
会議報告/口頭発表	高精細映像を用いた「超鏡」による遠隔学習環境	中澤明子, 奥林泰一郎, 森秀樹, 上田明久, 前迫孝憲, 中尾正博, 佐藤哲夫, 高山慎一郎, 川杉照雄, 橋本剛正, 森川治	2009/9/1	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集	47-50

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 12 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、学部生 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（旧外国語学部教職 120 名）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 6 件、国際会議 8 件、会議報告 7 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（1）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	(監修)佐伯胖・(編集)渡部信一 『「学び」の認知科学事典』IV 部「学び」のメカニズム 3 章 学びとワーキングメモリ	苧阪満里子・ 苧阪直行	2010/2/1	大修館書店	
学術論文	Gaze related mimic word activates the frontal eye field and related network in the human brain: An fMRI study	Osaka, N., & Osaka, M.	2009/6/1	Neuroscience Letters	Vol.461, pp.65-68
学術論文	Is the self special in the dorsomedial prefrontal cortex? An fMRI study.	Yaoi, K., Osaka, N., & Osaka, M.	2009/7/1	Social neurosciece	Vol.4, No.5, pp.455-463
学術論文	Individual differences in the theory of mind and superior temporal sulcus	Otsuka, Y., Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.	2009/10/1	Neuroscience Letters	Vol.463, No.2, pp.150-153
学術論文	Implied motion because of instability in Hokusai Manga activates the human motion sensitive extrastriate visual cortex: An fMRI study of the impact of visual art.	Osaka, N., Matsuyoshi, D., Ikeda, T., & Osaka, M.	2010/3/1	Neuroreport	vol.21, pp.264-267.
国際会議 (proceedings あり)	The role of the frontal pole in task preparation: An event-related fMRI study.	Koshino, H., Minamoto, T., Ikeda, T., Osaka, M., Otsuka, Y., Osaka, N.	2009/6/1	OHBM 15th Annual meeting.	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Visual awareness without prefrontal consciousness.	Osaka, N., & Osaka, M.	2009/6/1	Toward a science of consciousness 2009 Abstract	pp.56-56.
国際会議 (proceedings あり)	Functional asymmetry of the superior parietal lobule in working memory of the elderly.	Otsuka, Y., Osaka, N., & Osaka, M.	2009/6/1	Working Memory Discussion Meeting 2009	
国際会議 (proceedings あり)	Walk-related mimic word activates the extrastriate visual cortex in the human brain: An fMRI study.	Osaka, N., & Osaka, M.	2009/8/1	Perception Supplement (The 32nd European Conference on Visual Perception)	pp.176-176.
国際会議 (proceedings あり)	Incidental encoding of goal-irrelevant information can be predicted by activation of the left middle frontal gyrus: A preliminary fMRI study.	Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.	2009/10/1	Neuroscience Meeting Planner Program (The 39th Annual Meeting of the Society for Neuroscience)	
国際会議 (proceedings あり)	Training of inhibitory control of attention introduces effective control of executive function in elderly working memory: An fMRI study.	Osaka, M., Otsuka, Y., Kinoshita, Y., & Yaoi, K.	2009/10/1	Neuroscience Meeting Planner Program (The 39th Annual Meeting of the Society for Neuroscience)	
国際会議 (proceedings あり)	Individual differences in top-down inhibitory control in a face working memory task: An fMRI study.	Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.	2010/1/1	January Conference: Genetic and Experiential Influences on Executive Function	
会議報告/口頭発表	絵画の美的評価に関わる神経基盤	池田尊司・苧阪直行・苧阪満里子	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	pp.798-798.
会議報告/口頭発表	自己や他者への参照過程に関わる脳内神経基盤—E-networkとdual-process model—	矢追健・苧阪満里子・苧阪直行	2009/8/1	日本心理学会第73回大会	pp.637-637.
解説・総説	記憶とことばの理解をつなぐワーキングメモリ	苧阪満里子・苧阪直行	2009/11/1	月刊言語	vol.28, pp.46-53.

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名）、学部生 11 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 5 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 2 件、書評 0 件、その他（メディア 3 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	コミュニティの非日常から日常へのダイナミクス 「地域を活かすつながりのデザイナー—上町台地の現場から」	渥美公秀	2009/4/1	創元社	
著書	Toward reconciliation of historical conflict between Japan and China: Design science for peace in Asia. Montiel, C. & Noor, N.M. (Eds.) Peace psychology in Asia. pp. 237-247.	Atsumi, T., and Suwa, K.	2009/6/1	Springer	
著書	コミュニティ・ヘルスケア 「社会心理学辞典」	渥美公秀	2009/6/1	丸善出版	
著書	神戸人眼中的ぶん川地震 「災后心理援助名家談」	渥美公秀・矢守克也・鈴木勇・近藤誠司・淳于思岸	2009/7/1	北京:科学出版社	
著書	震災志願者組織的活動 日本震災志願者連絡組織の五年過程 「日本阪神大地震研究」	渥美公秀・加藤謙介・鈴木勇・渡辺としえ	2009/11/1	北京大学出版社	
著書	避難所の形成和友展 以西宮市安井小学校例 「日本阪神大地震研究」	渥美公秀・渡辺としえ	2009/11/1	北京大学出版社	
著書	震災がつなぐ全国ネットワークへの遺言 「KOBEの検証シリーズ 災害ボランティア文化編」	渥美公秀	2010/1/1	震災がつなぐ全国ネットワーク	
学術論文	Acceptance in a Disaster Area: Process Technologies for Implementation Scientists	Atsumi, T.	2009/4/1	Journal of Natural Disaster Science	30(2), 97-103

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Toward Reconciliation of Historical Conflict Between Japan and China: Design Science for Peace in Asia "Peace Psychology in Asia"	Atsumi, T., & Suwa, K.	2009/4/1	Peace Psychology in Asia	
学術論文	Waiting as Support, Listening as Aid: A Case Study of Student Disaster Volunteering after the 2004 Mid-Niigata Prefecture Earthquake	Suwa, K., Atsumi, T. & Seki, Y.	2009/4/1	Journal of Natural Disaster Science	30(2), 105-114
学術論文	災害復興における物語と外部支援者の役割について～新潟県中越地震の事例から～	宮本匠・渥美公秀	2009/4/1	実験社会心理学研究	49, 17-31
学術論文	馴致された生活環境を再構成するためのプロジェクト型ツールのデザインと実践	小林仁, 渥美公秀, 花村周寛, 本間直樹	2009/4/1	実験社会心理学研究	49, 2
学術論文	「障害者」の無力化に規範が及ぼす影響: 就労場面を通じた分析	青木千帆子・渥美公秀	2009/4/1	障害学研究	5, 164-186
学術論文	災害復興における「巫女の視点」	宮本匠・渥美公秀	2009/8/1	信学技報	109, 5-8
学術論文	Designs of Social Representation and Its Changes among Communities ;DATA HANDAI Project	Kobayashi, H., Atsumi, T. & Hanamura, C.	2009/12/1	Progress in Asian Social Psychology	6, 461-476
学術論文	Creative Processes of Community Revitalization using a Narrative Approach ;A Case Study from Chuetsu earthquake	Miyamoto, T., & Atsumi, T.	2009/12/1	Progress in Asian Social Psychology	6, 259-275
会議報告/口頭発表	『まちづくり』概念の曖昧さからみるまちづくりの在り方	徳植雅恵, 渥美公秀, 諏訪晃一	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会合同大会論文集	322-323
大学・研究所等の報告	「ただ傍らにいる」ことから始まる	渥美公秀	2009/4/1	Communication-Design	2, 14-20
大学・研究所等の報告	災害復興過程の被災地間伝承小千谷市塩谷集落から刈羽村への手紙	渥美公秀	2010/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	36, 1-18
解説・総説	災害ボランティア活動が文化になるということ	渥美公秀	2009/4/1	国づくりと研修	124, 18-20
解説・総説	減災コミュニケーションとボランティア文化	渥美公秀	2010/1/1	CEL	91, 21-24

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 3 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	Toward reconciliation of historical conflict between Japan and China: Design science for peace in Asia. Montiel, C. & Noor, N.M. (Eds.) Peace psychology in Asia. pp. 237-247.	Atsumi, T., and Suwa, K.	2009/6/1	Springer	
著書	文化遺産と都市文化政策(大阪市立大学文学研究科叢書第六卷)(p.205-225)「Cultural Heritage and Urban Policy: Reviving Rattanakosin Island. (文化遺産と都市政策:ラッタナコーシン島の再生)」	Banasopit M. and Mehl (著), 諏訪晃一(訳)	2009/12/1	清文堂出版	
国際会議 (proceedings なし)	Collective remembering targeted at community development	Koichi SUWA	2009/12/1	Psychological Studies	54
会議報告/口頭発表	グループ・ダイナミクスとしての集会的想起研究に向けて	諏訪晃一	2009/10/1	日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会合同大会論文集	
会議報告/口頭発表	『まちづくり』概念の曖昧さからみるまちづくりの在り方	徳植雅恵, 渥美公秀, 諏訪晃一	2009/10/1	日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会合同大会論文集	322-323

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
書評	書評 苅谷剛彦他著 岩波ブックレット No.738 検証 地方分権化時代の教育改革 杉並区立『和田中』の学校改革	諏訪晃一	2009/10/1	部落解放研究	187, 101-103

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 3 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（講演 1 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	看護における違反事例の収集と心理的要因の関わり	安達悠子, 臼井伸之介, 篠原一光, 松本友一郎	2009/8/1	電子情報通信学会技術研究報告(安全性), 信学技報	Vol. 109, No. 177, pp.13-16
会議報告/口頭発表	看護師のバーンアウトが失敗傾向に及ぼす影響	松本友一郎, 臼井伸之介	2009/8/1	産業・組織心理学会第 25 回大会発表論文集	pp.123-126
会議報告/口頭発表	工事現場における近道・省略行動の発生要因に関する質的検討	松本友一郎, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第 76 回大会発表論文集	p.95
会議報告/口頭発表	違反の心理的生起要因に関する検討—看護学生を対象に—	安達悠子, 臼井伸之介, 松本友一郎	2009/11/1	関西心理学会第 121 回大会発表論文集	p. 67

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Effect of averageness and sexual dimorphism on the judgment of facial attractiveness.	Komori, M., Kawamura, S., & Ishihara, S.	2009/5/1	Vision Research	49, 682-869
学術論文	Averageness or symmetry: which is more important for facial attractiveness?	Komori, M., Kawamura, S., & Ishihara, S.	2009/6/1	Acta Psychologica	131,136-142
国際会議 (proceedings なし)	Determinants of perceived masculinity and femininity	Komori, M., Kawamura, S., & Ishihara, S.	2009/7/1	Program of the 8th Biennial Meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	
会議報告/口頭発表	Morphometrics を用いた顔の魅力における平均性と左右非対称性の効果の検討	川村智・小森政嗣	2009/7/1	日本認知心理学会第 7 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	画像内の空間認知におけるボカシの効果	川村智	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	性的二形性と独立した顔の形態的变化が印象に及ぼす影響	勝間田剛・小森政嗣・川村智・石原茂和	2009/10/1	信学技報	
解説・総説	A physical factor explaining the effect of smiling on gender perception.	Kawamura, S., & Miyamoto, Y.	2009/11/1	Annual Report of Osaka University: Academic Achievement 2008-2009	45

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
その他	写真・絵画における三次元空間の表現(2)(ワークショップ企画)	川村智	2009/8/1	日本心理学会 第73回大会発表論文集	

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2009/6/1	Kawamura, S., & Miyamoto, Y.	100 Papers Selection (24 Graphics Selection)	Osaka University

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 件）、修士（主査 1 件、副査 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（東京大学特任助教の博士論文主査 1 件）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 2 件、会議報告 6 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Effects of self-motion on attention in real 3D space.	Kimura,T., Miura,T., Doi,S., and Yamamoto,Y.	2009/7/1	Acta Psychologica	131,194-201
学術論文	Attentional processing of location and color cues during driving.	Xia,R., Fukushima,M., Doi,S., Kimura,T., and Miura,T.	2009/7/1	Scandinavian Journal of Psychology	50,293-300
学術論文	Effect of fixation point distances on allocation of attention in real three-dimensional space	Takahiko Kimura, Toshiaki Miura, Kazumitsu Shinohara	2009/9/1	Perceptual and motor skills	109, 327-337
学術論文	運転行動の自己報告による運転行動と行動特性の分類の試み	駒田悠一,篠原一光,木村貴彦,三浦利章	2009/9/1	IATSS Review	34,230-237
国際会議 (proceedings なし)	Measurement of depth attention of driver in frontal scene.	Fukuoka,M., Doi,S., Kimura, T., and Miura, T.	2009/7/1	13th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2009)	
国際会議 (proceedings なし)	Driving safety and useful field of view in older adults	Kazuma Ishimatsu, Toshiaki Miura, Kazumitsu Shinohara	2009/7/1	The 8th Biennial Meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	
会議報告/口頭発表	動的環境内における虚像を用いた情報提示に関する基礎的検討	木村貴彦,緑川直幸,篠原一光,三浦利章	2009/6/1	人間工学	45(特別号), 384-385

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	テニスプレーヤーの打球方向予測スキルと眼球運動についての検討	宮本晃希・三浦利章・篠原一光・木村貴彦	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	734
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(1)	篠原一光・内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	727
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(2) —フランカーパラダイムを用いての検討—	内藤宏・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	728

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2009/11/1	引田伸昌・木村貴彦・篠原一光・三浦利章	関西心理学会研究奨励賞(第120回,2008)	関西心理学会
2009/11/1	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	関西心理学会研究奨励賞(第120回,2008)	関西心理学会

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 8 名）、学部生 3 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 3 件、会議報告 3 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	安全を支援するウェアラブルコンピュータの可能性ーウェアラブル機器によるヒューマンエラー防止ー	篠原一光	2009/4/1	繊維製品消費科学	50,4,27-33
学術論文	看護における違反事例の収集と心理的要因の関わり	安達悠子, 臼井伸之介, 篠原一光, 松本友一郎	2009/8/1	電子情報通信学会技術研究報告(安全性), 信学技報	Vol. 109, No. 177, pp.13-16
学術論文	Effect of fixation point distances on allocation of attention in real three-dimensional space	Takahiko Kimura, Toshiaki Miura, Kazumitsu Shinohara	2009/9/1	Perceptual and motor skills	109, 327-337
学術論文	運転行動の自己報告による運転行動と行動特性の分類の試み	駒田悠一, 篠原一光, 木村貴彦, 三浦利章	2009/9/1	IATSS Review	34,230-237
国際会議 (proceedings なし)	Driving safety and useful field of view in older adults	Kazuma Ishimatsu, Toshiaki Miura, Kazumitsu Shinohara	2009/7/1	The 8th Biennial Meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	
国際会議 (proceedings なし)	Finger-pointing and call method contributing to sure orientation of visual attention	Kazumitsu Shinohara, Katsuhiko Morimoto, Toshihiro Kubota	2009/7/1	The 8th Biennial Meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Effects of pointing action on visuo-spatial learning	Hiroshi Naito, Kazumitsu Shinohara, Yuko Matsui, and Masaru Hikono	2010/3/1		
会議報告/口頭発表	動的環境内における虚像を用いた情報提示に関する基礎的検討	木村貴彦, 緑川直幸, 篠原一光, 三浦利章	2009/6/1	人間工学	45(特別号), 384-385
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(1)	篠原一光・内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	727
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(2) —フランカーパラダイムを用いての検討—	内藤宏・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	728
会議報告/口頭発表	指差喚呼における最適な動作・発声方法の検討	篠原一光, 木村貴彦, 森本克彦, 久保田敏裕	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	21

所属： 行動学系 氏名： 内藤 宏

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Effects of pointing action on visuo-spatial learning	Hiroshi Naito, Kazumitsu Shinohara, Yuko Matsui, and Masaru Hikono	2010/3/1		
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(1)	篠原一光・内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会 第 73 回大会発表論文集	727
会議報告/口頭発表	指差喚呼が注意の焦点化に及ぼす影響(2) —フランクパーラダイムを用いての検討—	内藤宏・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2009/8/1	日本心理学会 第 73 回大会発表論文集	728

所属： 行動学系 氏名： 大坊 郁夫

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 10 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、学部生* 8 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（ ）（*3, 4 回生）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 6 件、国際会議 3* 件、会議報告 8* 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（講演：5 件）(*学生との連名を除く)

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	社会心理学事典	日本社会心理学会編	2009/6/1	丸善	
学術論文	Application of a Self-Evaluation Maintenance Model to Psychological Health in Interpersonal Contexts	Kamide,H. and Daibo, I.	2009/11/1	The Journal of Positive Psychology	(6), 537-565.
国際会議 (proceedings あり)	The effect of social skills training for Chinese undergraduates - holding effects from 3-month follow-up investigation-	Xinhua MAO & Ikuo DAIBO	2009/4/1	BPS Annual Conference 2009 Programme & Summaries	p.68

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 4 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 9 名）、学部生 16 名、留学生 0 名、研究生 1 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 8 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 3 件、書評 0 件、その他（ 1 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	社会心理学事典	釘原直樹(日本社会心理学会編)	2009/6/1	丸善	
著書	危機管理マニュアル どう伝え合うクライシスコミュニケーション	吉川肇子・釘原直樹・岡本真一郎・中川和之	2009/9/1	イマジ出版	
著書	新版 社会心理学研究入門	釘原直樹 第9章担当(安藤清志・村田光二・沼崎誠 編)	2009/9/1	東京大学出版会	
著書	産業・組織心理学への招待	釘原直樹 第3章 集団・組織担当(白樫三四郎 編)	2009/11/1	有斐閣	
会議報告/口頭発表	集団全体の業績変動が各成員のパフォーマンスに及ぼす影響	阿形亜子・釘原直樹	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	1051
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(14) 機会分析の方法の開発	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	302
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(13) 記憶バイアスに関する実験的研究	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	301
会議報告/口頭発表	集団全体の遂行水準が各成員の動機づけに及ぼす効果 他者の動機づけ認知との複合的影響	阿形亜子・釘原直樹	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会発表論文集	260-261
会議報告/口頭発表	利他的及び利己的状况における社会的な手抜き 場面想定法による検討	阿形亜子・釘原直樹	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会発表論文集	946-947

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	規範の遵守・信奉による不適応問題に関する研究 規範認知が規範的行動への評価低下におよぼす影響	上原依子・釘原直樹	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会発表論文集	584-585
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(16) テキストマイニングの特性を生かした検討	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会発表論文集	152-153
会議報告/口頭発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(15) テレビCM認知の歪み	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2009/10/1	日本社会心理学会第50回大会発表論文集	150-151
解説・総説	新型インフルエンザ発生時におけるクライシスコミュニケーションの問題	吉川肇子・釘原直樹・岡本真一郎	2009/7/1	日本医事新報	4447号 96-102頁
解説・総説	クライシスコミュニケーションはなぜうまくいかないのか	吉川肇子・釘原直樹・岡本真一郎	2009/9/1	日本医事新報	4456号 95-99頁
解説・総説	危機時における情報発信の在り方を考える 新型インフルエンザのクライシスコミュニケーションからの教訓	吉川肇子・釘原直樹・岡本真一郎	2009/11/1	医学会新聞	2853号 5頁

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 1 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	中国の若者の社会的スキルの向上を目指す	毛新華	2010/3/1	対人社会心理学研究	10, 39-43
国際会議 (proceedings あり)	The effect of social skills training for Chinese undergraduates - holding effects from 3-month follow-up investigation-	Xinhua MAO & Ikuo DAIBO	2009/4/1	BPS Annual Conference 2009 Programme & Summaries	p.68
会議報告/口頭発表	中国の若者の社会的スキルの向上を目指す (ワークショップ Well-being を目指す社会的スキル・トレーニングの活用)	毛新華	2009/10/1	日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミック学会第 56 回大会合同大会発表論文集	p.32
会議報告/口頭発表	人間関係の構築と社会的スキルの向上－文化的視点からのアプローチ	毛新華	2010/3/1	日本認定心理士会 近畿・中部・北陸地区支部 2009 年度研修会	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 12 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 3 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 6 名、前期課程 5 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 13 件、大学等の報告 2 件、解説・総説 8 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	現代心理学入門—進化と文化のクロスロード—	西本武彦・大藪泰・福澤一吉・越川房子(編)	2009/5/1	川島書店	
著書	新老年学[第3版]	大内尉義・秋山弘子編集代表	2010/1/1	東京大学出版会	
学術論文	高齢者施設入居者における食事の役割—九州地方の高齢者施設を例として—	大庭輝・野内類・高野裕治・高野春香・小嶋明子・佐藤眞一	2009/5/1	明治学院大学心理学部附属研究所年報	2, 49-61.
学術論文	大学生の食生活スタイル—精神的健康及び食行動異常との関連—	高野裕治, 野内類, 高野春香, 小嶋明子, 佐藤眞一	2009/10/1	心理学研究	80 卷, 321-329 頁.
学術論文	高齢者の虚偽記憶の特徴とその低減のための諸条件に関する展望	島内 晶・佐藤眞一	2009/11/1	心理学評論	52 卷, 311-321 頁
国際会議 (proceedings あり)	Long-term care insurance in Germany implies patterns of linkages among benefits and socio-economic indicators.	Sato, E. and Sato, S.	2009/7/1		
国際会議 (proceedings あり)	Age effect on memory self-confidence.	Shimanouchi, A. and Sato, S.	2009/7/1		
会議報告/口頭発表	老年社会科学の将来像—若手研究者の視点から—(指定討論)	佐藤眞一	2009/6/1		
会議報告/口頭発表	新しい事例検討の方法:事例に基づいて—お金や家族に対する心配, 不安から不穏, 不眠状態に陥ってしまう特別養護老人ホーム利用者へのアプローチについて—	佐藤眞一・小澤直人	2009/6/1		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	食生活スタイル尺度とクオリティ・オブ・ライフ—青年期と中年期における世代間比較—	高野春香・野内類・大庭輝・高野裕治・小嶋明子・佐藤眞一	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	高齢者の不適応行動の改善に心理学ができること	佐藤眞一	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	認知加齢(Cognitive Aging)に対する有効な介入方略の検討—生理的介入か, 認知的介入か—	佐藤眞一・権藤恭之	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	大学生とその両親世代の食事スタイルと抑うつ傾向の関係	大庭輝・野内類・高野裕治・高野春香・小嶋明子・佐藤眞一	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	DRM 課題を用いた虚偽記憶における高齢者の特徴—直後再認が遅延再認に与える影響に注目して—	島内 晶・佐藤眞一・伊集院睦雄・近藤公久	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	お金や家族に対する心配, 不安から不穏, 不眠状態に陥ってしまう特別養護老人ホーム利用者へのアプローチ—『パーソナルケア』に基づく事例の検討: ケアプランの策定, 実践, 評価—	小澤直人・佐藤眞一	2009/9/1		
会議報告/口頭発表	メタ記憶の自信度尺度についての検討—年齢差および高齢者の社会参加状況別の分析—	島内 晶・佐藤眞一	2009/9/1		
会議報告/口頭発表	生涯発達心理学におけるイベントヒストリー分析の可能性	佐藤眞一	2009/12/1		
会議報告/口頭発表	ACS 改革経過報告: 新方式フォーマット完成に向けて	佐藤眞一	2010/2/1		
会議報告/口頭発表	Aging Paradox: 加齢に伴う喪失に適応する高齢者—認知, 感情側面の補償プロセスに注目して—(指定討論)	佐藤眞一	2010/3/1		
会議報告/口頭発表	高齢者のメタ記憶の特性—記憶の自信度と自己有能感の関係について—	島内 晶・佐藤眞一	2010/3/1		
大学・研究所等の報告	食生活スタイルの生涯発達心理学	研究代表者: 佐藤眞一	2009/9/1		
解説・総説	生涯発達とエイジング	佐藤眞一	2009/7/1	地域リハビリテーション	4(7), 581-584.

分類(著書・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
解説・総説	たずさわることが施設利用者のココロにおよぼす影響	佐藤眞一	2009/7/1	おはよう 21	20(9), 26-28.
解説・総説	認知のエイジングとその対策	佐藤眞一	2009/8/1	地域リハビリテーション	4(8), 671-674.
解説・総説	ポジティブ・エイジング	佐藤眞一	2009/9/1	地域リハビリテーション	4(9), 766-769.
その他	高齢ドライバーについて考える	佐藤眞一	2009/11/1	第8回電腦交通安全セミナー総括資料集	
その他	老いと死にまつわる2つの思案	佐藤眞一	2009/12/1	生老病死の行動科学	14, 1-2.

(1) 平成21年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 6 名、前期課程 5 名）、学部生 9 名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成21年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 7 件、国際会議 2 件、会議報告 25 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	新老年学[第3判]	権藤恭之	2010/2/1	東京大学出版	
著書	学びの認知科学辞典(老人のまなび)	権藤恭之	2010/2/1	大修館書店	
学術論文	Cognitive function in Japanese centenarians according to the Mini-Mental State Examination.	Inagaki H, Gondo Y, Hirose N, Masui Y, Kitagawa K, Arai Y, Ebihara Y, Yamamura K, Takayama M, Nakazawa S, Shimizu K, Homma A.	2009/7/1	Dement Geriatr Cogn Disord.	28(1):6-12
学術論文	RNA editing genes associated with extreme old age in humans and with lifespan in <i>C. elegans</i> .	Sebastiani P, Montano M, Puca A, Solovieff N, Kojima T, Wang MC, Melista E, Meltzer M, Fischer SE, Andersen S, Hartley SH, Sedgewick A, Arai Y, Bergman A, Barzilai N, Terry DF, Riva A, Anselmi CV, Malovini A, Kitamoto A, Sawabe M, Arai T, Gondo Y, Steinberg MH, Hirose N, Atzmon G, Ruvkun G, Baldwin CT, Perls TT.	2009/12/1	PLoS One	4(12):e8210.

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
学術論文	地域高齢者における性格特性 と高次生活機能低下の関連	岩佐一、増井 幸恵、権藤恭 之、河合千恵 子、稲垣宏樹	2010/1/1	老年社会科学	31(4) 449-457

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Preference of place for end-of-life cancer care and death among bereaved Japanese families who experienced home hospice care and death of a loved one. Support Care Cancer	Choi JE, Miyashita M, Hirai K, et al	2009/9	Support Care Cancer	Epub ahead of print
学術論文	Care for Imminently Dying Cancer Patients: Family Members' Experiences and Recommendations	Shinjo T, Morita T, Hirai K, et.al	2010/1	J Clin Oncol	In press
学術論文	Religious Care Required for Japanese Terminally Ill Patients With Cancer From the Perspective of Bereaved Family Members	Okamoto T, Ando M, Morita T, Hirai K, et al.	2010/2	Am J Hosp Palliat Care 27 (1)	50-54
学術論文	難治性小児がん患児の家族が経験する困難の探索	吉田沙蘭, 天野功二, 森田達也, 尾形明子, 平井 啓	2010/2	小児がん	In press
学術論文	Physical activity and psychological adjustment in Japanese advanced lung cancer patients in chemotherapy: The feasibility of intervention.	Arai H, Hirai K, et.al	2010	International Journal of Sport and Health Science	In press
会議報告/口頭発表	患者の持つ医師への信頼感の関連要因に関する検討	岡田紫甫・平井啓・荒井弘和・和田奈緒子・佐々木淳・藤田綾子	2009/8/1		362
解説・総説	日本における認知行動療法の効果研究の現状と課題	鍋山麻衣子, 渡辺範雄, 平井 啓, 中川敦夫	2009/10	認知療法研究 第2巻	6-17
解説・総説	再発不安に対する問題解決療法	平井 啓	2010/2/1	腫瘍内科	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 3 名、副指導教員：
 後期課程 8 名、前期課程 7 名）、学部生 19 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 5 件、国際会議 0 件、会議報告 14 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	産業・組織心理学ハンドブック 項目「産業災害」	産業・組織心理学学会編	2009/7/1	丸善	
学術論文	看護における安全教育の有効性評価について	臼井伸之介, 和田一成	2009/5/1	信頼性	Vol.31, No.3, 215-222
学術論文	看護における違反事例の収集と心理的要因の関わり	安達悠子, 臼井伸之介, 篠原一光, 松本友一郎	2009/8/1	電子情報通信学会技術研究報告(安全性), 信学技報	Vol. 109, No. 177, pp.13-16
学術論文	無線連絡受信時における鉄道運転士の注意特性	上田真由子, 内藤久士, 臼井伸之介	2010/2/1	人間工学	Vol. 46, No.1, 1-9.
学術論文	看護業務における違反の心理的生起要因に関する研究	安達悠子, 臼井伸之介, 松本友一郎	2010/3/1	応用心理学研究	Vol.35, No.2
学術論文	船型経験が避航判断に及ぼす影響	淵 真輝, 藤本昌志, 臼井伸之介, 広野 康平	2010/3/1	日本航海学会論文集	vol.122, 121-130
会議報告/口頭発表	自己評価スキル獲得法に関する一考察 —一般ドライバーに対する運転評価基準の適正化—	中井 宏, 臼井伸之介, 藤井秀朗, 谷川幸男	2009/6/1	日本交通心理学会第 74 回大会発表論文集	17-20
会議報告/口頭発表	鉄道無線の提示方向がパフォーマンスに及ぼす影響—鉄道運転士と大学生の比較—	上田真由子, 内藤久士, 臼井伸之介	2009/7/1	日本認知心理学会第 7 回大会発表論文集	143
会議報告/口頭発表	視覚検出課題に対する持続的報知音の影響	武市尚大, 上田真由子, 臼井伸之介	2009/7/1	日本認知心理学会第 7 回大会発表論文集	22

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	看護師のバーンアウトが失敗傾向に及ぼす影響	松本友一郎, 臼井伸之介	2009/8/1	産業・組織心理学会第25回大会発表論文集	pp.123-126
会議報告/口頭発表	大学生の違反抵抗感測定ツールの作成	安達悠子, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	28
会議報告/口頭発表	工事現場における近道・省略行動の発生要因に関する質的検討	松本友一郎, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	p.95
会議報告/口頭発表	リスクテイキング行動尺度の作成(1)	森泉慎吾, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	24
会議報告/口頭発表	安心感を与える自動車運転の定量化—同乗者に与える安心感と他の道路ユーザーに与える安心感—	中井宏, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	23
会議報告/口頭発表	視覚トラッキング課題に対する持続的報知音の影響	武市尚大, 上田真由子, 臼井伸之介	2009/9/1	日本応用心理学会第76回大会発表論文集	34
会議報告/口頭発表	違反の心理的生起要因に関する検討—看護学生を対象に—	安達悠子, 臼井伸之介, 松本友一郎	2009/11/1	関西心理学会第121回大会発表論文集	p. 67
会議報告/口頭発表	リスクテイキング行動尺度の作成(2)—構成概念妥当性の実験的検討—	森泉慎吾, 臼井伸之介	2009/11/1	関西心理学会第121回大会発表論文集	35
会議報告/口頭発表	視覚トラッキング課題に対する持続的報知音の影響(2)—課題負荷による変化—	武市尚大, 上田真由子, 臼井伸之介	2009/11/1	関西心理学会第121回大会発表論文集	47
会議報告/口頭発表	大学生の違反事例の収集とその分析—心理的要因との関連—	安達悠子, 森泉慎吾, 篠原一光, 臼井伸之介	2009/12/1	平成21年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集	65-68
会議報告/口頭発表	リスクテイキング行動尺度の作成(3)—妥当性と因子特性の検討—	森泉慎吾, 臼井伸之介	2009/12/1	平成21年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集	69-72

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 16 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名）、学部生 3 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Gender acceptance and Menarche	Toshihiko Hinobayashi , Kazunori Yamada, Seiki Akai , Tadahiro Kanazawa, Tetsuhiro Minami , Naosuke Itoigawa	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の学齢期における心理・行動 その 58. 気質の変化傾向	安田純・金澤忠博・北村真知子・日野林俊彦・南徹弘	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1217
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その 56. 自閉症スペクトラム・学習障害・ADHD の行動指標と初期徴候	金澤忠博・山本悦代・安田 純・北村真知子・日野林俊彦・南 徹弘・藤村正哲	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1215
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その 23 —2008年2月における平均初潮年齢の動向—	日野林俊彦・赤井誠生・山田一憲・安田 純・金澤忠博・南 徹弘	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1150
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の共感性について	加藤真由子・鎌田次郎・金澤忠博・安田 純・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第 21 回大会発表論文集	222
会議報告/口頭発表	統合保育場面における発達障がい児と定型発達児の仲間関係	河原崎智春 安田純 大西賢治 金澤忠博 日野林俊彦 南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第 21 回大会論文集	682

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における学齢期に気質と家庭環境 子どもの気質の難しさが親の養育態度や家庭環境を悪化させる	鎌田次郎・安田純・金澤忠博・日野林俊彦・南 徹弘・糸魚川直祐	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	220
会議報告/口頭発表	乳児院における乳幼児の保育士に対するアタッチメントの安定性とその関連要因 ～アタッチメントQ分類法を用いて～	今川恵理子・金澤忠博・安田 純・近藤清美・日野林俊彦	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	思春期における性別受容と初潮の関わり	日野林俊彦,安田純,加藤真由子,金澤忠博,南 徹弘,糸魚川直祐	2010/3/1		
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の長期予後一幼児期の精神発達と学齢期のIQとの関係一	北村 真知子・金澤忠博・安田 純・加藤 真由子・河原崎智春・糸魚川 直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名）、学部生 6 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 16 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Gender acceptance and Menarche	Toshihiko Hinobayashi , Kazunori Yamada, Seiki Akai , Tadahiro Kanazawa, Tetsuhiro Minami , Naosuke Itoigawa	2009/8/1		
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における発達障害・行動問題の初期徴候	金澤忠博・安田純・北村真知子・糸魚川直祐・日野林俊彦・南 徹弘・北島博之・藤村正哲	2009/6/1	第 21 回ハイリスク児フォローアップ研究会抄録集	
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の学齢期における心理・行動 その 58. 気質の変化傾向	安田純・金澤忠博・北村真知子・日野林俊彦・南徹弘	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1217
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その 57. 家庭環境評定尺度 HOME 得点と WISC 得点の関係	鎌田次郎・金澤忠博・日野林俊彦・南徹弘	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1216
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その 56. 自閉症スペクトラム・学習障害・ADHD の行動指標と初期徴候	金澤忠博・山本悦代・安田 純・北村真知子・日野林俊彦・南 徹弘・藤村正哲	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1215
会議報告/口頭発表	発達加速現象の研究・その 23 —2008年2月における平均初潮年齢の動向—	日野林俊彦・赤井誠生・山田一憲・安田 純・金澤忠博・南 徹弘	2009/8/1	日本心理学会第 73 回大会発表論文集	1150

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の心理・行動 その59. 動的家族画で描かれる行為の分析	北村真知子・金澤忠博・安田 純・南徹弘	2009/8/1	日本心理学会第73回大会発表論文集	1218
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の学齢期における愛着スタイルと発達障害の関係	金澤忠博・北村真知子・北島博之・藤村正哲	2009/10/1	日本未熟児新生児学会雑誌(第54回日本未熟児新生児学会抄録号)	21(3): 237.
会議報告/口頭発表	学齢期の超低出生体重児における発達障害の行動指標～自閉症スペクトラムを中心に～	金澤忠博・安田純・北村真知子・加藤真由子・河原崎智春・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘・藤村正哲	2010/2/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	219
会議報告/口頭発表	学齢期における超低出生体重児の共感性について	加藤真由子・鎌田次郎・金澤忠博・安田 純・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	222
会議報告/口頭発表	統合保育場面における発達障がい児と定型発達児の仲間関係	河原崎智春 安田純 大西賢治 金澤忠博 日野林俊彦 南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会論文集	682
会議報告/口頭発表	超低出生体重児における学齢期に気質と家庭環境 子どもの気質の難しさが親の養育態度や家庭環境を悪化させる	鎌田次郎・安田純・金澤忠博・日野林俊彦・南徹弘・糸魚川直祐	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	220
会議報告/口頭発表	乳児院における乳幼児の保育士に対するアタッチメントの安定性とその関連要因 ～アタッチメントQ分類法を用いて～	今川恵理子・金澤忠博・安田 純・近藤清美・日野林俊彦	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	超低出生体重児の長期予後—幼児期の精神発達と学齢期のIQとの関係—	北村 真知子・金澤忠博・安田 純・加藤 真由子・河原崎智春・糸魚川 直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査__件、副査__件）、修士（主査__件、副査__件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程__名、前期課程__名、副指導教員：後期課程__名、前期課程__名）、学部生__名、留学生__名、研究生__名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 6 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける母子が離れた場面での母子関係ー母ザルはどのように子ザルを見守っているのかー	大西賢治	2009/5/1		
会議報告/口頭発表	ムササビに対する攻撃反応	大西賢治	2009/7/1		
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける子ザルが発する鳴き声に対する母ザルの反応性	大西賢治 中道正之	2009/7/1	霊長類研究	Vol.25 (supplement), pp.S-14.
会議報告/口頭発表	統合保育場面における発達障がい児と定型発達児の仲間関係	河原崎智春 安田純 大西賢治 金澤忠博 日野林俊彦 南徹弘	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会論文集	682
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける子ザルのビジランス行動の発達変化	大西賢治 中道正之	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会論文集	255

所属： 行動学系 氏名： 志村 剛

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 0 名）、学部生 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 6 件、国際会議 4 件、会議報告 5 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	GABAergic transmission in the rat ventral pallidum mediates a saccharin palatability shift in conditioned taste aversion.	Inui T, Yamamoto T, Shimura T	2009/7/1	Eur J Neurosci	30 (1) 110-115
学術論文	Cannabinoid in the nucleus accumbens enhances the intake of palatable solution.	Shinohara Y, Inui T, Yamamoto T, Shimura T	2009/10/1	Neuroreport	20 (15) 1382-1385
解説・総説	味覚嫌悪学習における脳内報酬系の役割	乾 賢, 山本隆, 志村 剛	2009/8/1	日本味と匂学会誌	16 (2) 141-151

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 4 名、前期課程 4 名）、学部生 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 4 件、国際会議 3 件、会議報告 7 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	自発的栄養摂取に基づく味覚嗜好学習法の創出	吉沢光、北澤美保、船木美穂、藤原宏子、佐藤亮平、八十島安伸、宮本武典	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16(3): 393-396
学術論文	扁桃体の一時的不活化が高嗜好性味刺激の自発的摂取に及ぼす影響	篠原祐平、八十島安伸、乾 賢、志村 剛	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16(3): 381-384
学術論文	シヨ糖溶液の過剰摂取行動と脳内報酬系の機能変化	谷渕めぐみ、八十島安伸、志村剛	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16(3): 349-350
学術論文	味覚嫌悪学習の消去と前頭前皮質の機能	八十島安伸、志村 剛	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16(3): 347-348
国際会議 (proceedings あり)	THE ROLE OF THE AMYGDALA IN PALATABILITY INDUCED FEEDING	Shinohara, Y., Yasoshima, Y., Inui, T., Shimura, T.	2009/7/1	Journal of Physiological Sciences	59 Suppl 1: 479
国際会議 (proceedings あり)	ROLES OF THE PREFRONTAL CORTEX IN RETRIEVAL AND EXTINCTION OF TASTE AVERSION LEARNING IN MICE	Yasoshima, Y., Shimura, T.	2009/7/1	Journal of Physiological Sciences	59 Suppl 1: 180
国際会議 (proceedings なし)	Contribution of Amygdala to Conditioned Sugar-Preference Generated under Food Restriction in Mice	Hikaru Yoshizawa, Miho Kitazawa, Hiroko Eda-Fujiwara, Ryohei Sato, Yasunobu Yasoshima and Takenori Miyamoto	2009/11/1	Abstract of The 7th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception (YR Umami Forum 2009)	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	Behavioral roles of the striatonigral neural pathway in reinforcement learning	Ryoji Fukabori, Nobuyuki Kai, Kenta Kobayashi, Kana Okada, Yasunobu Yasoshima, Yuji Tsutsui and Kazuto Kobayashi	2009/9/1	Neurosci. Res.	65 Suppl 1: S190
会議報告/口頭発表	Role of the ventral midbrain in binge-type overconsumption of a highly palatable sweet solution	Yasoshima, Y., Tanibuchi, M., Shimura, T.	2009/9/1	Neurosci. Res.	65 Suppl. 1: S224
会議報告/口頭発表	The different involvement of the amygdalar nuclei in the palatability-induced ingestion	Yuhei Shinohara, Yasunobu Yasoshima, Tadashi Inui and Tsuyoshi Shimura	2009/9/1	Neurosci. Res.	65 Suppl. 1: S176

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2009/9/1	篠原祐平、八十島安伸、乾 賢、志村 剛	日本味と匂学会論文賞	日本味と匂学会

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 0 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、学部生 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 5 件、国際会議 1 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	GABAergic transmission in the rat ventral pallidum mediates a saccharin palatability shift in conditioned taste aversion.	Tadashi Inui , Takashi Yamamoto, Tsuyoshi Shimura	2009/6/1	European Journal of Neuroscience	30, 110-115
学術論文	Cannabinoid in the nucleus accumbens enhances the intake of palatable solution.	Yuhei Shinohara, Tadashi Inui, Takashi Yamamoto, Tsuyoshi Shimura	2009/9/1	Neuroreport	20, 1382-1385
学術論文	ラット腹側淡蒼球 GABA 受容体活性化による嫌悪性味覚反応の発現機序	乾賢, 志村剛	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16 巻, 3 号, 339-342
学術論文	味覚嫌悪学習の想起によって活性化される側坐核の遠心性投射路の可視化:マンガン造影 MRI 法を用いて	乾千珠子, 乾賢, 吉岡芳親, 志村剛, 大澤五住	2009/12/1	日本味と匂学会誌	16 巻, 3 号, 355-358
学術論文	The brain mapping of the retrieval of conditioned taste aversion memory using manganese-enhanced magnetic resonance imaging in rats.	Inui-Yamamoto C, Yoshioka Y, Inui T, Sasaki KS, Ooi Y, Ueda K, Seiyama A, Ohzawa I.	2010/2/1	Neuroscience	
解説・総説	味覚嫌悪学習における脳内報酬系の役割	乾 賢, 山本隆, 志村 剛	2009/8/1	日本味と匂学会誌	16 巻, 2 号, 141-151

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 6 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名）、学部生 7 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ なし ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 5 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ なし ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Joint Procrustes Analysis for Simultaneous Nonsingular Transformation of Component Score and Loading Matrices	Kohei Adachi	2009/12/1	Psychometrika	Vol. 74, 667-683
国際会議 (proceedings なし)	Joint Procrustes Algorithm for Nonsingular and Compensatory Transformation of Component and Loading Matrices	Kohei Adachi	2009/6/1	The 1st Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meetings (IMS-APRM)	
会議報告/口頭発表	Permutimin: Factor Rotation to Specified Simple Structure with Least Squares Permutation	Kohei Adachi	2009/7/1	The 16th International Meeting of Psychometric Society	pp. 40

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 1 名）、学部生 1 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 8 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Gaits of Japanese macaque (<i>Macaca fuscata</i>) on a horizontal ladder and arboreal stability.	Yasuo Higurashi, Eishi Hirasaki, Hiroo Kumakura	2009/4/1	American Journal of Physical Anthropology	138: 448-457
学術論文	大阪府堺市から出土した近世人頭蓋の計測的特徴	長岡朋人、嶋谷和彦、安部みき子、平田和明、熊倉博雄	2009/12/1		117(2):89-97
会議報告/口頭発表	書字動作における指の運動解析 2.児童の書字動作	熊倉博雄、廣川容子、日暮泰男、平崎鋭矢	2009/10/1	人類学雑誌	
会議報告/口頭発表	主成分分析による体肢の協調運動の分析:ニホンザルの四足歩行への適用	日暮泰男、熊倉博雄	2009/10/1		
会議報告/口頭発表	テナガザルのブラキエーション時における後肢の三次元運動解析	岡健司、平崎鋭矢、熊倉博雄	2009/11/1	第 30 回バイオメカニズム学術講演会 SOBIM2009 予稿集	pp119-122

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名）、学部生 1 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	A morphological study of the human bones from Rujum Hedaja	Yoshihiko NAKANO	2009/4/1	ラーフィダーン	30:201-209
学術論文	A morphological study of the human remains from Bishri mountains.	Yoshihiko NAKANO	2010/3/1	AL-RAFIDAN	31:170-173
学術論文	Human remains from the Bronze age sites in Bishri region, the Middle Euphrates Syria.	Yoshihiko NAKANO and Hidemi ISHIDA	2010/3/1	AL-RAFIDAN SPECIAL ISSUE 2010	105-115
国際会議 (proceedings なし)	Human remains from the Bronze Age sites in Bishri Region.	Yoshihiko Nakano, Hidemi Ishida.	2009/11/1	International Symposium: Formation of Tribal Communities. Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. ABSTRACTS.	20-21
会議報告/口頭発表	チンパンジー垂直木登りにおける運動パターンと形態データとの関連性について	中野良彦	2009/7/1	霊長類研究	25.suppl.:28
会議報告/口頭発表	Human skeletal remains excavated from Bronze Age sites in Bishri region, Syria.	Nakano, Y. Ishida, H.	2009/12/1	Anthropological Science	117(3):199.

所属： 行動学系 氏名： 中道 正之

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 0 名）、学部生 8 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 5 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	Distribution of dorsal carriage among simians.	Nakamichi M. & Yamada, K.	2009/4/1	Primates	50: 153-168
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける子ザルが発する鳴き声に対する母ザルの反応性	大西賢治 中道正之	2009/7/1	霊長類研究	Vol.25 (supplement), pp.S-14.
会議報告/口頭発表	ニホンザルにおける子ザルのビジランス行動の発達変化	大西賢治 中道正之	2010/3/1	日本発達心理学会第21回大会論文集	255
解説・総説	ニホンザルの稀な行動に関する情報の交換と集約.	中道正之・山田一憲・中川尚史	2009/12/1	霊長類研究	25

所属： 行動学系 氏名： 中原 純

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_____件、学術論文_____件、国際会議_____件、会議報告_____件
大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	都市部前期高齢者の向老期と現在の生き方の継続性—認識レベルによる横断的検討—	中原純・藤田綾子	2009/4/1	厚生指標	56(4), 35-39.
国際会議 (proceedings あり)	A qualitative study for the barriers for participating in chil-support activities by grandparental generations.	Tabuchi, M, Nakahara, J., & Fujita, A.	2009/7/1		
国際会議 (proceedings あり)	Effects of productive roles and productive role identity on the affective well-being of the elderly in Japan.	Nakahara, J., & Fujita, A.	2009/7/1		

所属： 社会学系 氏名： 友枝 敏雄

(1) 平成 20 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 5 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 2 名）、学部生 4 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ 0 ）

(2) 平成 20 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ 0 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	現代の高校生は何を考えているか	友枝敏雄編	2009/5/1	世界思想社	pp.1-12, pp.113-138
著書	社会理論と社会システム 第2版	友枝敏雄・浜日出夫・三重野卓編	2010/2/1	中央法規出版	pp.2-11, pp.13-27
著書	データアーカイブ SRDQ で学ぶ社会調査の計量分析	川端亮,近藤博之,長松奈美江,吉川徹,中村高康,友枝敏雄,他	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
会議報告/口頭発表	高校生の規範同調志向と保守化	友枝敏雄	2009/9/1	西日本社会学会報告要旨集	
解説・総説	高校生の意識に構造改革の影	友枝敏雄	2009/6/1	毎日新聞西部本社版	2009年 6月22日 朝刊

所属： 社会学系 氏名： 木前 利秋

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 5 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名）、学部生 1 名、留学生 1 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 10 件、国際会議 件、会議報告 1 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（翻訳（共訳）1件 ）

所属： 社会学系 氏名： 川端 亮

(1) 平成 20 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 4 件、副査 1 件）、修士（主査 3 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 7 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 6 名、前期課程 5 名）、学部生 25 名、留学生 1 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 20 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ 報告書 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	質的データのコンピュータ・コーディング	川端 亮	2009/7/1	よくわかる質的 社会調査 技 法編	
著書	データアーカイブ SRDQ で学ぶ 社会調査の計量分析	川端亮,近藤博 之,長松奈美 江,吉川徹,中 村高康,友枝敏 雄,他	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
学術論文	国際文化交流機関の評価手法 開発研究における諸方法2	真鍋一史・川端 亮・袈岩晶	2010/3/1	関西学院大学 社会学部紀要	109号, 91-113
学術論文	新宗教における二段階の英語 化	川端 亮	2010/3/1	大阪大学大学 院人間科学研 究科紀要	36, pp. 39-57
会議報告/口頭 発表	アメリカ SGI の歴史と現在 - 適応のプロセス-	川端 亮	2009/6/1		
会議報告/口頭 発表	国際交流基金の事業評価調査 のデータ解析	真鍋一史・川端 亮・袈岩晶	2010/2/1		
その他	社会学および社会学会に対す る意識・要望、自由回答の分析	川端 亮	2009/10/1	若手研究者の 研究・生活の現 状と研究活性 化に向けた課 題	

所属： 社会学系 氏名： 吉川 徹

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 23 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 4 件）、修士（主査 1 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 5 名、前期課程 3 名）、学部生 24 名、留学生 1 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 0 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	子どもの貧困白書	吉川徹	2009/9/1	明石書店	47-51
著書	データアーカイブ SRDQ で学ぶ社会調査の計量分析	川端亮,近藤博之,長松奈美江,吉川徹,中村高康,友枝敏雄,他	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
学術論文	「教育格差」と母親学歴	吉川徹	2009/4/1	『家族社会学研究』	Vol.21, No.1, 61-64
学術論文	The Education Gap in the Postindustrial Era	Namie NAGAMATSU and Toru KIKKAWA	2009/12/1	The Japanese Economy	36 (3) 61-95

所属： 社会学系 氏名： 牟田 和恵

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 3 件）、修士（主査 4 件、副査 8 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 6 名、前期課程 8 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名）、学部生 22 名、留学生 3 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 0 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（新聞評論 1 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	『新編日本のフェミニズム第1巻 リブとフェミニズム』『フェミニズムの歴史からみる社会運動の可能性』	牟田和恵	2009/5/1	岩波書店	
著書	『新編日本のフェミニズム第3巻 性役割』第1章「戦略としての女——明治・大正の「女の言説」を巡って」	牟田和恵	2009/7/1	岩波書店	
著書	『家族を超える社会学——新たな生の基盤を求めて』	牟田和恵	2009/12/1	新曜社	
著書	『家族を超える社会学——新たな生の基盤を求めて』第3章「ジェンダー家族のポリティクス」	牟田和恵	2009/12/1	新曜社	
著書	『モダンガールと植民地近代』第5章「新しい女・モガ・良妻賢母——近代日本の女性像のコンフィギュレーション」	牟田和恵	2010/3/1	岩波書店	
国際会議 (proceedings なし)	“The making of Sekuhara :the concept and politics of sexual harassment in Japan”	Muta Kazue	2009/7/1	Center for Women’ Studies, The University of York (UK)	
会議報告/口頭発表	CEDAW(国連女性差別撤廃委員会)勧告 2009「性暴力」	牟田和恵	2010/3/1	日本学術会議シンポジウム	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
大学・研究所等の報告	若手女性研究者の意識と状況	乾順子、牟田和恵	2009/10/1	若手研究者の研究・生活の現状と研究活性化に向けた課題--日本社会学会若手会員へのアンケート調査報告書	51-70
その他	真の子育て支援とは	牟田和恵	2009/7/1	京都新聞	

所属： 社会学系 氏名： 辻 大介

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 1 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 8 名）、学部生 20 名、留学生 1 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	自由への問い4 コミュニケーション	北田暁大, 江口聡, 和田伸一郎, 安藤馨, 毛利裕一, 難波功士, 林香里, 若林幹夫, 辻大介	2010/2/1	岩波書店	
学術論文	オンラインとオフラインの社会関係資本——二〇〇八年日本・アメリカ比較調査の結果から	辻大介	2010/3/1	年報人間科学	31号, 229-240頁
会議報告/口頭発表	CM言語の「断層」、一九五〇／六〇	辻大介	2010/3/1		
解説・総説	若者の今、メディアの現在1 「便所飯」とケータイ	辻大介	2010/2/1	GALAC	488号、32-35頁
解説・総説	若者の今、メディアの現在2 テレビを見るテレビ	辻大介	2010/3/1	GALAC	489号、32-35頁
書評	片桐新自著『不安定社会の若者たち——大学生調査から見るこの20年』	辻大介	2010/2/1	ソシオロジ	54巻3号, 131-134頁

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件）、修士（主査 3 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 2 名）、学部生 17 名、留学生 6 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 3 件、国際会議 3 件、会議報告 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 3 件、書評 件、その他（英訳：論文 2 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	The ISA Handbook of Diverse Sociological Traditions, Chapter 27 "Sociology in Post World War II Japan."	Koto Yousuke author, Scott North translator	2010/1/1	Sage Publications Ltd.	Ch. 27, pp. 324-334
著書	Max Weber and 20th Century Sociology	Author, Koto Yosuke. Translation by Ayumi Takenaka and Scott North	2010/2/1	Kwansei Gakuin University Social Sciences Review v. 14	
学術論文	Negotiating What's 'Natural': Persistent Domestic Gender Role Inequality in Japan	Scott North	2009/5/1	Social Science Japan Journal	12, 1, 23-44.
学術論文	Where Change Creates Continuity: The Culture of Domesticity in Contemporary Japan	Scott North	2009/10/1	Asian Journal of Literature, Culture and Society	Vol. 3.2, pp. 38-63.
学術論文	Overtime Activists Take On Corporate Titans: Toyota, McDonald's, and Japan's Work Hour Controversy	Charles Weathers and Scott North	2009/12/1	Pacific Affairs	Vol. 82, No. 4 (Winter 2009); 615-636
学術論文	Hello Work, Sayonara Koyo? Less Secure Employment and the Zeitgeist of Japan's Lost Decade	Scott North	2010/3/1	Globalization, Localization, and Japanese Studies in the Asia-Pacific Region	Vol. 2
国際会議 (proceedings なし)	Employment and Family Life after the Great Bubble: Deflation in Japan's Emotional Economy	Scott North	2009/8/1		

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Specifying the Relationship between Job Conditions and Psychological States: Comparative Analysis of Japanese and American Workers	Yusuke Tanabiki, Yusuke Sakaguchi, Sho Fujiwara, Masahiro Yayashi, Scott North, and Toru Kikkawa.	2009/8/1		
解説・総説	Trial Puts a Culture in Dock	Scott North	2009/7/1	Asia Times Online	
解説・総説	Japan's Politicos Miss Emotional Deficit	Scott North	2009/8/1	Asia Times	Aug. 26
解説・総説	Japan's Temps May Get New Deal, of Sorts	Scott North	2010/1/1	Asia Times	

所属： 社会学系 _____ 氏名： 山中 浩司 _____

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 2 件、副査 1 件）、修士（主査 2 件、副査 5 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 7 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 5 名）、学部生 24 名、留学生 _____ 名、研究生 _____ 名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 _____ 件、国際会議 _____ 件、会議報告 _____ 件、大学等の報告 _____ 件、解説・総説 _____ 件、書評 _____ 件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	医療技術と器具の社会史—聴診器と顕微鏡をめぐる文化	山中浩司	2009/8/1	大阪大学出版会	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 3 件）、修士（主査 3 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名）、学部生 0 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 5 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 33 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「障害者総合福祉サービス法」の展望 第3部第2章 障害者福祉サービスと介護保険	堤 修三	2009/6/1	ミネルヴァ書房	
解説・総説	よくわかる！高齢者医療制度改革(3)	堤 修三	2009/4/1	月刊シニアビジネスマーケット	
解説・総説	次期介護保険法改正の視点	堤 修三	2009/4/1	月刊介護保険情報4月号	
解説・総説	誰も橋本構想別案を覚えていない—保険者間連帯は可能か—	堤 修三	2009/5/1	社会保険旬報	
解説・総説	自由な医療サービス市場と公的な医療費ファイナンス	堤 修三	2009/5/1	月刊シニアビジネスマーケット	9-May
解説・総説	要介護認定と継続する人生	堤 修三	2009/5/1	月刊介護保険情報	2009年5月号
解説・総説	緊急報告・制度の谷間を照らす事業の灯を消さないために～大阪府社会福祉協議会の社会貢献事業の危機～	堤 修三	2009/6/1	月刊福祉	9-Jun
解説・総説	介護保険サービスの〈断念〉	堤 修三	2009/6/1	月刊介護保険情報	2009年6月号
解説・総説	要介護認定基準の見直しをめぐる断想	堤 修三	2009/6/1	月刊シニアビジネスマーケット	2009年6月号
解説・総説	高齢者医療制度改革をもう一度考える(1)	堤 修三	2009/6/1	文化連情報	9-Jun
解説・総説	制度は現場を変えられるか	堤 修三	2009/7/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	政権交代のコスト	堤 修三	2009/7/1	月刊シニアビジネスマーケット	
解説・総説	高齢者医療制度改革をもう一度考える(2)	堤 修三	2009/7/1	文化連情報	9-Jul
解説・総説	介護保険の意味論(1)～要介護リスク～	堤 修三	2009/8/1	月刊シニアビジネスマーケット	

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
解説・総説	やさしさは〈断念〉の後遺症である	堤 修三	2009/8/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	高齢者医療制度改革をもう一度考える(3)	堤 修三	2009/8/1	文化連情報	
解説・総説	抛出原理と擬制の効用	堤 修三	2009/9/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険の意味論(2)～要介護状態①～	堤 修三	2009/9/1	月刊シニアビジネスマーケット	
解説・総説	被爆者問題によせて	堤 修三	2009/10/1	月刊介護保険情報	
解説・総説	介護保険の意味論(3)～要介護状態②～	堤 修三	2009/10/1	月刊シニアビジネスマーケット	
解説・総説	強くはないが〈個人〉である	堤 修三	2009/11/1	月刊介護保険情報	2009年11月号
解説・総説	介護保険の意味論(4)～給付の形式～	堤 修三	2009/11/1	月刊シニアビジネスマーケット	2009年11月号
解説・総説	介護保険の意味論(5)～介護サービスの特性①～	堤 修三	2009/12/1	月刊シニアビジネスマーケット	2009.12
解説・総説	介護保険の原点から考える	堤 修三	2009/12/1	大阪大学医学部学友会会誌	29
解説・総説	介護保険のなかの〈異物〉	堤 修三	2009/12/1	月刊介護保険情報	2009.12
解説・総説	制度の狭間の福祉ニーズへの対応	堤 修三	2010/1/1	月刊福祉 100年記念増刊号	93巻 2号 196-197頁
解説・総説	自民党政権下における社会保障政策の功罪	堤 修三	2010/1/1	社会保険旬報 2010/1/1	2410
解説・総説	新政権の医療政策をどう評価するか [9]後期高齢者医療を含む医療保険制度に関する政策の評価	堤 修三	2010/1/1	月刊保険診療	
解説・総説	〈地域主権〉と社会保障	堤 修三	2010/1/1	月刊介護保険情報	2010.01
解説・総説	介護保険の意味論(6)～介護サービスの特性②～	堤 修三	2010/1/1	月刊シニアビジネスマーケット	2010.01
解説・総説	損得勘定と納得感情	堤 修三	2010/2/1	月刊介護保険情報	10-Feb
解説・総説	介護保険の意味論(7)～介護サービスの利用～	堤 修三	2010/2/1	月刊シニアビジネスマーケット	10-Feb
解説・総説	介護保険の意味論(8)～介護サービスの提供～	堤 修三	2010/3/1	月刊シニアビジネスマーケット	
解説・総説	色はないが意味はある	堤 修三	2010/3/1	月刊介護保険情報	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 2 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 4 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 3 名）、学部生 9 名、留学生 2 名、研究生 0 名、
 その他（留学生 1 人は短期留学生）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、
 その他 2 件（御坊市認知症介護報告書、ニッセイ財団研究助成報告書）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	スウェーデンを知るための60章	村井誠人、斉藤弥生他	2009/6/1	明石書店	250-255
著書	Meeting the Challenges of Elder Care: Japan and Norway	Yayoi Saito, Reiko Abe Auestad, Kari Waerness, Karen Christensen, Unni Edvardsen, and Norio Okazawa	2010/3/1	Kyoto University Press and Trans Pacific Press	ix-xxi, 38-67, 104-127, 188-196
学術論文	スウェーデンにおける介護職員の労働条件向上へのアプローチ—連帯賃金政策とジェンダー平等からの戦略—	斉藤弥生	2009/7/1	北ヨーロッパ研究	第5巻、1-15
会議報告/口頭発表	「公民館活動」という名の地域ガバナンス —松江市の地域福祉活動の事例から(2)—	斉藤弥生	2009/6/1		
会議報告/口頭発表	北欧諸国間の介護システム比較研究(2)—ノルウェーの現地調査からの報告(ホームヘルプに焦点をあてて)—	斉藤弥生	2009/10/1		
解説・総説	特集にあたって. 地産地消の地域福祉—様々な課題を克服する「ローカルな知」	斉藤弥生	2010/3/1	地域福祉研究	第 38 号
その他	介護報酬引き上げが制度の充実につながらない理由	斉藤弥生	2009/6/1	エコノミスト 2009 年 6 月 23 日号	40-42

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 28 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 14 名（4 人で指導）、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 2 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	現代唯名論の構築 - 歴史の哲学への応用	中山 康雄	2009/7/1	春秋社	
学術論文	knowing-that と knowing-how の区別	池吉琢磨・中山康雄	2009/12/1	科学基礎論研究	vol. 37, No. 1
学術論文	規範体系の分析	中山 康雄	2010/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	81-98
国際会議 (proceedings あり)	Dynamic Contextualism in Semantics and in Epistemology	Yasuo Nakayama and Yuji Fukuta	2009/11/1	Proceedings of the Sixth International Workshop on Logic and Engineering of Natural Language Semantics (LENLS6)	
国際会議 (proceedings あり)	Logical Framework for Normative Systems	Yasuo NAKAYAMA	2010/3/1	SOCREAL 2010: Proceedings of the 2nd International Workshop On Philosophy and Ethics of Social Reality	
解説・総説	Overview of Logic and Engineering of Natural Language Semantics (LENLS) 2008	Yasuo Nakayama	2009/6/1	New Frontiers in Artificial Intelligence: JSAI 2008 Conferences and Workshops,	101-102

分類(著書 ・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
書評	河野哲也・染谷昌義・齋藤暢人 (編)『環境のオントロジー』(春 秋社、2008 年)	中山 康雄	2009/12/1	科学哲学	91-95

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 24 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 1 件（学外））、修士（主査 3 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 4 名、前期課程 6 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 1 名）、学部生 16 名（共同）、留学生 1 名、研究生 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 12 件、国際会議 1 件、会議報告 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 3 件 書評 3 件、その他（雑誌座談会 1 雑誌共訳 1）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	『ドゥルーズ入門』	檜垣立哉	2009/4/1	筑摩書房	
学術論文	浮遊する個体	檜垣立哉	2009/4/1	現代思想	vol37-5
学術論文	私/世界を生命/環境として捉えると何が出てくるか	檜垣立哉	2009/6/1	岩波講座『哲学08』生命/環境の哲学	197-227
学術論文	ヴィータ・テクニカ哲学への序章 連載ヴィータ・テクニカ(1)	檜垣立哉	2009/10/1	現代思想	37-13、p.8-17
学術論文	断片の歴史/歴史の断片 ドゥルーズの時間論(5)	檜垣立哉	2009/10/1	『思想』10月号	1026号 p142-157
学術論文	生態学的転回について 前連載ヴィータ・テクニカ(2)	檜垣立哉	2009/11/1	現代思想	37-14 p.8-17
学術論文	生態学的転回について 中連載ヴィータ・テクニカ(3)	檜垣立哉	2009/12/1	現代思想 12月号	37-15 p8-18
学術論文	記憶の实在 ベルクソンとベンヤミン	檜垣立哉	2009/12/1	『思想』12月号	1028号 p60-78
学術論文	生態学的転回について 後 バイオ・エコ・キャピタルへ 連載ヴィータ・テクニカ(4)	檜垣立哉	2010/1/1	現代思想	38-1 p34-44
学術論文	生命における主体/生態における視点 前 連載ヴィータ・テクニカ5	檜垣立哉	2010/2/1	現代思想	38-2 p8-19
学術論文	L'existence de la memoire. Henri Bergson et Walter Benjamin	HIGAKI, Tatsuya	2010/3/1	Philosophia Osaka	No5 p41-52
学術論文	生命における主体/生態における視点 中 内部観測について 連載ヴィータテクニカ(6)	檜垣立哉	2010/3/1	現代思想	38-3 p8-17

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
解説・総説	競馬のエクリチュール	檜垣立哉	2009/9/1	文藝別冊 寺山修司の時代	p.210-213
解説・総説	エリー・デューリング 持続と同時性・解題	檜垣立哉	2009/12/1	『思想』12月号	1028号 p250-252
解説・総説	日常の重さと軽さ やまだ紫について	檜垣立哉	2010/3/1	現代詩手帳	53-3 p72-73
書評	石井敏夫著『ベルクソン化の極北』	檜垣立哉	2009/7/1	実存思想論集	24巻 185-188
書評	フランソワ・ドス著『ドゥルーズとガタリ 交差的評伝』	檜垣立哉	2009/10/1	週刊読書人 2009年10月9日号	2808
書評	後期フーコーの権力論とネオリベラリズムの問い 佐藤嘉幸『新自由主義と権力』書評	檜垣立哉	2010/2/1	週間読書人	2824
その他	おもひでの名勝負 宝塚記念	檜垣立哉	2009/6/1	週刊競馬ブック 宝塚記念号	86-87
その他	持続と同時性	エリー・デューリング著 森元斎・檜垣立哉訳	2009/12/1	『思想』12月号	1028号 p253-278
その他	ベルクソンの過去から未来へ(座談会)	金森修・合田正人・檜垣立哉	2009/12/1	『思想』12月号	1028号 p11-43

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 4 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 7 名、前期課程 8 名）、学部生 7 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 8 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、
 大学等の報告 2 件、解説・総説 0 件、書評 1 件、その他（ 1 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	アスペルガー症候群 治療の現場から	宮尾益知ほか	2009/7/1	ブックマン社	
著書	L'oeuvre du phenomene ; Melanges de philosophie offerts a Marc Richir	yasuhiko murakami etc.	2009/10/1	Ousia	pp. 161-182
学術論文	Silence, style, reve : Merleau-Ponty et la metamorphose du sujet	Yasuhiko Murakami	2009/9/1	Bulletin d'analyse phenomenologique 2009 ISSN 1782-2041 http://popups.ulg.ac.be/bap.htm	v.5, no.7, 1-17
学術論文	"Emme tienneet mita meille tapahtui - Nakokulmia todellisuuden fenomenologiaan"("We did not know what happened to us" - A phenomenology of reality)	yasuhiko murakami	2009/9/1	Tiede & edistys	2009, no.2, pp. 95-111
学術論文	うそとは何か～現象学的分析	村上靖彦	2009/11/1	臨床精神医学	38-11: pp. 1557-1562
学術論文	超越論的テレパシーを貫く治療者の欲望 フッサールとドルト	村上靖彦	2009/12/1	現代思想	37-16, pp.224-236

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	De la telepathie transcendante - La communication et la creativite selon Winnicott	yasuhiko murakami	2010/2/1	Annales de Phenomenologie	vol. 9, pp. 83-96
学術論文	創造性と知覚的空想～フッサールとウィニコットを巡って	村上靖彦	2010/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	36 巻 pp. 101-116
国際会議 (proceedingsあり)	Transcendental Telepathy , the Communication and the Creativity According to Winnicott	Yasuhiko Murakami	2009/9/1		
会議報告/口頭発表	超越論的テレパシーについて	村上靖彦	2009/5/1		
会議報告/口頭発表	知覚的空想からみた自閉症児のコミュニケーション	村上靖彦	2009/6/1		
会議報告/口頭発表	自閉症における知覚的空想をめぐる諸問題	村上靖彦	2009/7/1		
会議報告/口頭発表	超越論的テレパシーから形の次元を抽出する ～自閉症児の並べ遊びとコミュニケーション	村上靖彦	2009/10/1		
会議報告/口頭発表	並べ遊びとごっこ遊び～知覚的空想から見た自閉症児のコミュニケーション	村上靖彦	2009/11/1		
会議報告/口頭発表	よしもとばなな・ジェンドリン・フッサール～メタファーという治療装置	村上靖彦	2010/3/1		

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目 (1 学期)
 ② 学位論文審査：博士 (主査 0 件、副査 1 件)、修士 (主査 1 件、副査 4 件)
 ③ 指導学生数： 大学院 (指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 4 名)、学部生 3 名、留学生 3 名、研究生 1 名、
 その他 ()

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 4 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 3 件、解説・総説 1 件、書評 2 件、その他 ()

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	Tokuzo Fukuda.Briefe an Lujo Brentano,1898-1930	Wolfgang Schwentker in Zusammenarbeit mit H.Kimura	2009/10/1	IUDICIUM Vertrag GmbH	
学術論文	Japanische Geschichte im Ueberblick: Neuere Literatur und aktuelle Debatten (Literaturbericht) 1	Wolfgang Schwentker	2009/10/1	Neue Politische Literatur	54, 225-240
学術論文	Japanische Geschichte im Ueberblick: Neuere Literatur und aktuelle Debatten (Literaturbericht), 2	Wolfgang Schwentker	2009/12/1	Neue Politische Literatur	54, 403-422
その他	Fukuda Tokuzo, Briefe an Lujo Brentano, 1898-1930	Wolfgang Schwentker (zusammen mit Hiroyuki Kimura)	2009/10/1		

所属： 人間学系 氏名： 中川 敏

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 19 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 3 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 3 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 7 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名）、学部生 29 名、留学生 4 名、研究生 2 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 件、会議報告 件、大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	言語ゲームが世界を創る	中川敏	2009/6/1	世界思想社	

所属： 人間学系 氏名： 森田 敦郎

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_____件、学術論文_____件、国際会議_____件、会議報告_____件
大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings あり)	Compelled to Compare: Travelling Machines, Uncertainty and Emergent Relations in Thai Indigenous Engineering	Atsuro Morita	2009/7/1		
国際会議 (proceedings あり)	Travelling Comparisons: Ethnographic Reflections on Science and Technology	Mohacsi Gergely and Morita Atsuro	2009/7/1		

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2009/11/1	Miyata, H., Ishigami, M., Sannomiya, M., & Matsushita, E.	CATE(Computers and Advanced Technology in Education)-2009 Best Paper Award	International Conference on Computers and Advanced Technology in Education (CATE2009)

所属： 教育学系 氏名： 藤岡 淳子

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 13 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 1 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 7 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 3 名）、学部生 14 名、留学生 名、研究生 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 2 件、国際会議 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ 監訳 3 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	回復への道のり～親ガイド	ティモシー・カーン	2009/8/1	誠信書房	
著書	回復への道のり～パスウェイズ	ティモシー・カーン	2009/9/1	誠信書房	
著書	回復への道のり～ロードマップ	ティモシー・カーン	2009/11/1	誠信書房	
学術論文	性犯罪再犯の予防と支援についての一考察	藤岡淳子	2010/1/1	臨床心理学	55号, 44-49頁
学術論文	治療共同体による薬物依存離脱プログラム～官民協働刑務所島根あさひ社会復帰促進センターの試み	藤岡淳子、毛利真弓	2010/3/1		
会議報告/口頭発表	サイバー空間に潜む危険と安全対策～性非行とサイバー空間	藤岡淳子	2010/3/1	警察政策	12巻 289-295
その他	司法分野におけるこれからの臨床家に求めること	藤岡淳子	2010/1/1	上智大学臨床心理研究	32巻 5-6頁

所属： 教育学系 氏名： 老松 克博

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 25 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 4 件、副査 10 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 9 名、前期課程 6 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 14 名）、学部生 16 名、留学生 2 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 2 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 2 件、書評 0 件、その他（訳書 2 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	哲学の木(翻訳)	C・G・ユング (著), 老松克博 (監訳)	2009/9/1	創元社	
著書	ユングとサールズ(翻訳)	D・セジウィック (著), 老松克博 (監訳)	2009/9/1	金剛出版	
著書	ユングとサールズへのナビゲーション(セジウィック著『ユングとサールズ』所収, p.239-256)	老松克博	2009/9/1	金剛出版	
著書	木, 錬金術, アクティブ・イメージーション(ユング著『哲学の木』所収, p.3-15)	老松克博	2009/9/1	創元社	

所属： 教育学系 氏名： 宮田 敬一

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 18 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 5 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 3 名、前期課程 9 名、副指導教員：後期課程 3 名、前期課程 5 名）、学部生 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 件、会議報告 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	心理療法がうまくいくための工夫	乾 吉佑・宮田敬一編著	2009/9/1	金剛出版	
学術論文	ブリーフセラピーに催眠的介入を組み入れることの意義	宮田敬一	2009/9/1	催眠学研究	51 巻、第 1・2 号、21-28.
大学・研究所等の報告	ストレスからのメッセージ～地域・社会の視点からストレスマネジメントを考える	宮田敬一	2009/9/1	いわき明星大学心理相談室紀要	第 4 号、26-34.

所属： 教育学系 氏名： 大前 玲子

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_____件、学術論文_____件、国際会議_____件、会議報告_____件、大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	箱庭による認知物語療法－自分で読み解くイメージ表現－	大前玲子	2010/2/1	誠信書房	
学術論文	学級というグループ 心理療法の視点を取り入れた学級経営	大前玲子	2009/11/1	臨床心理学	第 9 巻 第 6 号 p757-762
会議報告/口頭発表	コラージュ療法における認知－物語アプローチの導入	大前玲子	2009/8/1	2009 年 8 月 日本コラージュ療法学会第 1 回大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	・ イメージ表現における認知－物語アプローチの導入	大前玲子	2009/9/1	日本心理臨床学会第 28 回秋季大会発表論文集	
会議報告/口頭発表	学校現場における未病のサイン	大前玲子	2009/11/1	日本未病システム学会発表論文集	
会議報告/口頭発表	「箱庭遊び」から「Sandplay therapy」への試み－日本における箱庭療法の起源に立ち返って－	大前玲子	2009/11/1	日本箱庭療法学会第 23 回大会発表論文集	

所属： 教育学系 氏名： 近藤 博之

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 2 件）、修士（主査 2 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名、副指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名）、学部生 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	データアーカイブ SRDQ で学ぶ社会調査の計量分析	川端亮,近藤博之,長松奈美江,吉川徹,中村高康,友枝敏雄,他	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
著書	近藤博之・岩井八郎共編『現代教育社会学』、「ジェンダーと教育」	木村涼子	2010/3/1	有斐閣	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 11 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 1 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 2 名）、学部生 10 名、留学生 0 名、研究生 0 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 1 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	戦後日本における教育選抜の大衆化とメリトクラシーに関する社会学的研究—大学入学者選抜における推薦入学制度に着目して—	中村高康	2009/7/1	博士学位請求論文(東京大学)	
著書	データアーカイブ SRDQ で学ぶ社会調査の計量分析	川端亮,近藤博之,長松奈美江,吉川徹,中村高康,友枝敏雄,他	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
著書	『「OB・OG 訪問」とは何だったのか—90 年代初期の大卒就職と現代—」荻谷剛彦・本田由紀編『大卒就職の社会学』,所収	中村高康	2010/3/1	東京大学出版会	
著書	「就職と学歴」有本章・山野井敦徳・山崎博敏編著『教育社会学概論』所収	中村高康	2010/3/1	ミネルヴァ書房	
大学・研究所等の報告	学校から正規雇用への移行期間と属性	中村高康	2010/3/1	『「若者の教育とキャリア形成に関する調査」2008 年第 2 回調査結果報告書』	22-30
その他	高卒進路の“四大シフト”と取り残される若年層	中村高康・片山悠樹	2009/12/1	『青少年問題』	636, 14-19

所属： 教育学系 氏名： 小野田 正利

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_____件、学術論文_____件、国際会議_____件、会議報告_____件、大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	イチャモン研究会～学校と保護者のいい関係づくりへ	小野田正利	2009/9/1	ミネルヴァ書房	
著書	イチャモンどんとこい！～保護者といい関係をつくるためのワークショップ	小野田正利	2009/12/1	学事出版	
著書	ストップ！自子チュー～親と教師がつながる	小野田正利	2010/1/1	旬報社	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 17 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 2 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 3 名）、学部生 7 名、留学生 0 名、研究生 1 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 2 件、国際会議 1 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 4 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	部落史研究からの発信(第3巻一現代編)	平沢安政他	2009/7/1	解放出版社	
学術論文	「第三次とりまとめ」と「人権教育の推進に関する取組状況調査結果」が示唆するもの	平沢安政	2010/1/1	部落解放研究	第 188 号、 61 頁～77 頁
会議報告/口頭発表	「キー・コンピテンシー」(OECD)が「学士力」に示唆するもの	平沢安政	2009/12/1	第 59 回東北・北海道地区大学一般教育研究会研究集録	
その他	人権をめぐる国内外の動向と企業の社会的責任	平沢安政	2009/5/1	ホットライン21 (大阪同和・人権問題企業連絡会広報誌)	No.57, pp.5-7
その他	今日における部落差別の現実と企業の取り組むべき課題	平沢安政	2009/6/1	大阪市企業人権 NEWS	第 15 号
その他	社会教育における人権教育の推進	平沢安政	2010/3/1	平成 21 年度実践報告集	第 25 集、 14 頁～33 頁
その他	園・学校における人権教育の取り組み—豊かな人権文化を育てるために	平沢安政	2010/3/1	全体研修会講演の記録	
その他	人権文化のまちづくりをめざして	平沢安政	2010/3/1	人権尊重推進協議会等活動事例集 IX	63 頁～85 頁

所属： 教育学系 氏名： 木村 涼子

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 2 件）、修士（主査 0 件、副査 0 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 2 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 3 名、前期課程 1 名）、学部生 5 名、留学生 1 名、研究生 1 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 8 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 2 件、書評 1 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	アップル,M.,ウィットイク,J.&長尾彰夫編『日本の学校教育とジェンダー・ポリティクス』『批判的教育学と公教育の再生』	木村涼子	2009/5/1	明石書店	
著書	『リーディングス日本の教育と社会 16 ジェンダーと教育』	木村涼子編	2009/5/1	日本図書センター	
著書	園山大祐・フランソワ・サブレー編『日仏比較 変容する社会と教育の視点』『日本の教育システムとジェンダー』	木村涼子	2009/6/1	明石書店	
著書	大阪における男女平等に関わる教育運動の歩み	木村涼子・東裕子	2009/9/1	大阪社会運動協会	
著書	改訂版 教育の社会学 <常識>の問い方・見直し方	荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗	2010/3/1	有斐閣	
著書	近藤博之・岩井八郎共編『現代教育社会学』、『ジェンダーと教育』	木村涼子	2010/3/1	有斐閣	61-77
解説・総説	「教育する家族」「ジェンダーと家族」	木村涼子	2009/9/1	『よくわかる現代家族』	
解説・総説	「キャロル・ギリガン『もう1つの声』—関係性の道徳」	木村涼子	2010/1/1	『社会学ベシックス5 近代家族とジェンダー』	
書評	書評 小山静子「戦後教育のジェンダー秩序」	木村涼子	2010/3/1	人環フォーラム	26号

所属： 教育学系 氏名： 木村 和美

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 2 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
後期課程 名、前期課程 名）、学部生 名、留学生 名、研究生 名、
その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 件、国際会議 件、会議報告 件、
大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

所属： 教育学系 氏名： 鈴木 勇

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 3 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
後期課程 名、前期課程 名）、学部生 名、留学生 名、研究生 名、
その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 2 件、
大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 21 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 6 件、副査 1 件）、修士（主査 4 件、副査 6 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 15 名、前期課程 13 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 3 名）、学部生 16 名、留学生 6 名、研究生 1 名、その他（ 外国人特別研究員 1 名 ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 7 件、国際会議 11 件、会議報告 17 件、大学等の報告 5 件、解説・総説 6 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	JICA プロフェッショナルの挑戦	中村安秀	2009/6/1	JICA 研究所	
著書	医者はいないところで(デビッド・ワーナー著)	中村安秀	2009/10/1	シェア=国際保健協力市民の会	
著書	実践ガイド 医療改革をどう実現すべきか(M. Roberts, W. Hsiao, P. Berman, M. Reich 著)	中村安秀, 丸井英二	2010/2/1	日本経済新聞出版社	
解説・総説	世界に広がる母子健康手帳	中村安秀	2009/5/1	小児科臨床	62 巻 5 号
解説・総説	日本の母子健康手帳の歩み	飯酒盃沙耶香, 中村安秀	2009/5/1	小児科臨床	62 巻 5 号
解説・総説	医療通訳士協議会の設立と今後の展望	中村安秀, 竹迫和美	2009/6/1	自治体国際化フォーラム	5 巻
解説・総説	在日外国人に対する医療	中村安秀, 沢田貴志	2009/8/1	日本医事新報	
解説・総説	国際化社会における外来小児科の役割	中村安秀	2009/10/1	外来小児科	12 巻 3 号
解説・総説	世界に広がり、世界から学ぶ、母子健康手帳	中村安秀	2009/12/1	日本医事新報	4458 号 1 頁
解説・総説	母子手帳の有効活用—新生児科	中村安秀	2010/1/1	周産期医学	40 巻 1 号 127-130 頁

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 5 件）、修士（主査 0 件、副査 5 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 5 名、前期課程 5 名）、学部生 10 名、留学生 4 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 1 件、会議報告 4 件、
 大学等の報告 2 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（研究会等での発表 4 件）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	Challenge of Quality Education in Sub-Saharan African Countries	Sifuna, D. N. and Sawamura, N.	2010/1/1	Nova Science Publishers	
学術論文	ケニア農村部における小学校就学の実態と意味—生徒、教師、保護者へのインタビューを通して—	澤村信英、伊元智恵子	2009/10/1	国際教育協力論集	12 巻 2 号、119-128 頁
会議報告/口頭発表	ケニアの農村コミュニティから見た小学校教育の意味と役割	澤村信英	2009/5/1	日本アフリカ学会第 46 回学術大会研究発表要旨集	35 頁
会議報告/口頭発表	マラウイの初等教育政策と学校レベルの質的改善	澤村信英	2009/6/1	日本比較教育学会第 45 回大会発表要旨集録	217 頁
会議報告/口頭発表	ケニアにおける小学校就学の現実的意味と役割—沿海部と内陸部の比較—	澤村信英	2009/11/1	第 20 回国際開発学会全国大会報告論文集	90-93 頁
会議報告/口頭発表	米国ピースコーの社会連携事業と帰国ボランティアの活動	澤村信英	2010/3/1	第 11 回国際ボランティア学会大会講演要旨集	10-11 頁
大学・研究所等の報告	海外調査 米国(海外ボランティア事業の特徴、帰国ボランティアの国内活動)	澤村信英	2009/6/1	日本社会の課題解決における海外ボランティア活動の有効性の検証(青年海外協力協会受託調査研究報告書)	94-101 頁

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
大学・研究所等の報告	マラウイの初等教育無償化後の現実—学校レベルの質的改善—	澤村信英	2009/10/1	国際教育協力論集	12巻2号、203-209頁

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 15 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査1件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程4名、副指導教員：
 後期課程 名、前期課程 名）、学部生 30 名、留学生 名、研究生 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 3 件、国際会議 1 件、会議報告 2 件、
 大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
学術論文	スポーツを通じた開発－国際協力におけるスポーツの定位と諸機関の取組み－	岡田千あき、山口泰雄	2009/9/1	神戸大学大学院人間発達環境学研究科紀要	第3巻第1号、39-47頁
学術論文	カンボジアの現代コミュニティに関する一考察	岡田千あき	2010/3/1	人間科学研究科紀要	第36巻
国際会議 (proceedingsあり)	A Study of a Community Sport Activity in Cambodia –Case Example and Achievement-	Chiaki Okada	2009/7/1		
会議報告/口頭発表	開発途上国におけるコミュニティ・スポーツ活動への参加	岡田千あき、齊藤一彦	2009/6/1	日本運動スポーツ科学学会第16回大会	
会議報告/口頭発表	6th World Congress of International Sociology of Sport Association, 15-18 July 2009, Utrecht The Netherlands 開発途上国におけるスポーツの発展とそのジレンマ－競技性とスポーツ・フォー・オールのはざまで－	岡田千あき	2009/8/1		

(4) 受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
2009/6/1	岡田千あき、齊藤一彦	日本運動スポーツ科学学会第16回大会優秀発表賞	日本運動・スポーツ科学学会

所属：グローバル人間学系 氏名： 千葉 泉

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 14 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 7 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 名、前期課程 5 名）、学部生 30 名、留学生 0 名、研究生 1 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 2 件、大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（CD 創作 2 件）

(3) 受賞・特許・作品、他

発表年月	製作者名	作品名	発表場所
2009/12/1	CHIBA Izumi	CANTOS DEL CORAZON(こころの歌)	<サントリー文化財団「資本主義再考」研究会>、スタジオ 73(高槻市)、平成 21 年 11 月 20 日。

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 9 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 1 件、副査 0 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 1 名、副指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名）、学部生 58 名、留学生 名、研究生 名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 1 件、国際会議 0 件、会議報告 0 件、大学等の報告 0 件、解説・総説 1 件、書評 0 件、その他（学術誌の編集（編集長）2冊）

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 22 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 0 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 2 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 1 名）、学部生 50 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 0 件、学術論文 0 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 0 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 2 件 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	生存権と社会文化	小林清治	2009/12/1	社会文化学会 第 12 回全国大会	
その他	社会文化学会第 12 回全国大会を終えて	小林清治	2010/2/1	社会文化学会 通信	第 36 号 p.p.1-2
その他	2009 年度岐阜県大垣市における外国人児童生徒の教育支援調査報告書	小林清治他	2010/3/1	大阪大学小林清治研究室	

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 25 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 1 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 0 名、前期課程 1 名、副指導教員：
 後期課程 2 名、前期課程 4 名）、学部生 67 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 4 件、学術論文 8 件、国際会議 1 件、会議報告 5 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元/掲載誌	巻号頁
著書	「如何勾建中国食品的危机勾通—通寸中国産冷餃子中毒事件検証食品安全性及消費者的安心和信頼—/中国食品を巡るリスクコミュニケーションの構築を目指して:中国製冷凍ギョーザ中毒事件を通じての食の安全と消費者の安心・信頼の検証」『第三屆現代中国社会變動與東亜新格局』	三好恵真子, (日本大阪大学中国文化論壇, 南開大学歴史学院, 東華大学歴史学系 編)	2009/8/1	日本大阪大学中国文化論壇, 南開大学歴史学院, 東華大学歴史学系	
著書	『低利用生物資源由来の不凍タンパク質の機能性発現とその応用開発に向けた基礎的研究』	三好恵真子	2009/10/1	平成20年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書	
著書	『生活と環境—身の回りの環境汚染物質—』	三好恵真子	2009/11/1	国崎クリーンセンター啓発施設:セミナー・ワークショップ	
著書	「理想化される女性の身体像—自己対象化から考察するスリム・ダイエット志向—/Idealized Body Image in Women: Self-objectification manifested by persistent body surveillance」(武田佐知子編)『着衣する身体』	三好恵真子 (武田佐知子編)	2010/3/1	科学研究費補助金(基盤研究(A))『着衣する身体と女性の周縁化』	
著書	『食を取り巻く環境』	三好恵真子 (編)	2010/3/1	健康大阪21食育推進企業団、大阪府主催、食育ヤングリーダー支援助成事業	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	Effects of Global Economic Systems on Asbestos Disaster in China	Miyoshi,E.	2009/4/1	Osaka University Knowledge Archive	2009.04.09
学術論文	中国食品を巡るリスクコミュニケーションの構築を目指してー中国製冷凍ギョーザ中毒事件を通じての食の安全と消費者の安心・信頼の検証ー	三好恵真子	2009/6/1	New Food Industry	Vol.51, No.6, p.p.51-66
学術論文	The Establishment of Risk Communication for China-made Foods: An investigation of food safety, consumer perception of food-related risks and social trust based on the toxic Chinese dumpling scare in Japan	Miyoshi,E	2009/9/1	Discussion Papers in Contemporary China Studies, Osaka University Forum on China	No.2009-4, 1-33 (2009)
学術論文	The Establishment of Risk Communication for China-made Foods: An investigation of food safety, consumer perception of food-related risks and social trust based on the toxic Chinese dumpling scare in Japan	Miyoshi,E.	2009/10/1	Osaka University Knowledge Archive	2009.10.16
学術論文	理想化される女性の身体像ー自己対象化から考察するスリム・ダイエット志向ー	三好恵真子他	2009/10/1	New Food Industry	Vol.51, No. 10, 45-59
学術論文	A Basic Research on Functional Properties of Antifreeze Protein and its Applications	Miyoshi,E.	2010/3/1	5th Pacific Rim Conference on Rheology (PRCR-5)	Prepapers WEB
学術論文	Synergistic Interaction between Helix-Forming Polysaccharide and Konjac Glucomannan.	Miyoshi,E.	2010/3/1	Bulletin by Graduate School of Human Sciences	Vol.36, p.p.219-242
学術論文	絡議如何構建中国食品的風險溝通:以中国速凍餃子中毒事件為例考証食品安全性與消費者安心感和信任感之間的關係	三好恵真子(金晶訳)	2010/3/1	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	No.2010-9, 1-12 (2010)
国際会議 (proceedingsあり)	The Establishment of Risk Communication for China-made Foods: An investigation of food safety, consumer perception of food-related risks and social trust based on a toxic Chinese dumpling scare in Japan	Miyoshi,E.	2009/8/1	The Third International Symposium: Social Change of Contemporary China and New Challenge of East Asia	Proceedings

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
会議報告/口頭発表	グローバル化する中国の環境問題どう捉えるべきか	三好恵真子	2009/6/1	i-TECH セミナー, 大阪大学大学院工学研究科	講演資料集 p.p.1-44
会議報告/口頭発表	21世紀の中国と東アジア-環境:人間の安全保障と持続的発展-	三好恵真子	2010/2/1	中国文化フォーラム主催 研究セミナー 現代中国研究における東アジア・学校間交流の可能性	要旨集掲載
大学・研究所等の報告	低利用生物資源由来の不凍タンパク質の機能性発現とその応用開発に向けた基礎的研究	三好恵真子	2009/10/1	平成20年度ヒューマンサイエンスプロジェクト成果報告会	関連資料
大学・研究所等の報告	食の安全性を巡る安心・信頼構築のメカニズム	三好恵真子	2009/11/1	食の安全・安心を考えるコンセンサス会議	関連論文 配布
その他	食と環境ー子どもたちの未来を守るためにー	三好恵真子	2009/11/1	2009年度秋期講演会, 国崎クリーンセンター啓発施設	講演資料集
その他	下宿生の野菜生活改善・充実に向けたサポート計画ー『ベジダブル☆フェスタ』実施報告ー	三好恵真子他	2010/3/1	平成21年度食育ヤングリーダー支援助成事業報告会	配付資料 p.p.1-4

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 20 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 3 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 1 名、前期課程 0 名、副指導教員：
 後期課程 0 名、前期課程 0 名）、学部生 15 名、留学生 0 名、研究生 0 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 3 件、学術論文 3 件、国際会議 0 件、会議報告 1 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 0 件、書評 0 件、その他（ 辞典 4 項目 ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	『タイ事典』	河森正人	2009/9/1	めこん	
著書	『タイの医療福祉制度改革』	河森正人	2009/10/1	御茶の水書房	
学術論文	「タイにおける高齢者福祉の制度と政策的課題－主としてコミュニティ・ケアとの関連で」	河森正人	2009/7/1	『アジア太平洋論叢』	第 18 号
学術論文	「30 パーツ医療制度下における地域福祉の『制度』と『主体』－『主体』としての高齢者在宅福祉ボランティアの機能を中心に」	河森正人	2010/2/1	『グローバル人間学紀要』	第 2 号、 5-18 ページ
学術論文	「地域福祉の東アジア域内比較をめぐって－タイの事例を中心に」	河森正人	2010/3/1	『人間科学研究科紀要』	第 36 号

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 0 件、副査 1 件）、修士（主査 0 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 _____ 名、前期課程 _____ 名、副指導教員：
 後期課程 _____ 名、前期課程 _____ 名）、学部生 _____ 名、留学生 _____ 名、研究生 _____ 名、
 その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 6 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 _____ 件、
 大学等の報告 _____ 件、解説・総説 1 件、書評 _____ 件、その他（ 1 件 _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	'Elderly survivors of the 1995 Great Hanshin Earthquake in Japan:NVivo application to Japanese field research' In: Methods in Practice, Lyn Richards (ed)	Junko Otani	2009/4/1	Sage: London	
著書	『質的データの取り扱い』	大谷順子,大杉卓三	2009/7/1	北大路書房	
著書	「第5章 BOPの保健医療を改善する情報通信技術」『BOPを変革する情報通信技術—バンラデシユの挑戦』ムハマド・ユヌス教授序文・アシルアハメッド・大杉卓三 編著	大谷順子	2009/9/1	集広舎	
著書	「キルギス共和国」『世界の社会福祉年鑑 第9集』	大谷順子	2009/12/1	旬報社	
著書	Older People in Natural Disasters (English)(単著)	Junko Otani	2010/2/1	Kyoto Univerisyt Press	
著書	Older People in Natural Disasters (English 単著)	Junko Otani	2010/2/1	Trans Pacific Press: Australia	
著書	《災難後的重生—阪神大震災對高齢化社會的衝擊—》(中文版・単著)	原著・中文版監修:大谷順子, 翻譯:徐濤	2010/2/1	南天書局有限公司(台灣)	
著書	《災難後的重生—阪神大震災對高齢化社會的衝擊—》(中文版・単著)	日本語原著・中文版監修:大谷順子, 翻譯:徐濤	2010/2/1	中国書店	
著書	『人間の安全保障と中央アジア』	大杉卓三,大谷順子	2010/3/1	花書院(九大比文叢書)	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	中国新疆南部の農村地域におけるウイグル人女性の教育状況に関する調査報告	希日娜依・買蘇提(シェリンアイ・マイステイ), 大谷順子	2010/3/1	九州大学アジア総合政策センター紀要	第4号 67-84頁
国際会議 (proceedingsあり)	2008年四川大地震(2008年四川大地震)から見る中国	大谷順子	2009/8/1	大阪大学中国文化フォーラム第3回国際シンポジウム論文集「現代「中国」の社会変容と東アジアの新環境」	255-260
国際会議 (proceedingsあり)	人間開発指標(HDI)としてのHIV感染率と喫煙率にみる現代中央アジアの課題	大谷順子・大杉卓三	2009/9/1	第20回国際開発学会全国大会報告論文集	352-355頁
解説・総説	从四川大地震透視現代中国	大谷順子(張玉梅 訳)	2010/3/1	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー	10-Jun
その他	Health and Welfare in Asian Cities (原著英語、邦訳 アジアの都市の保健と福祉)	Junko Otani	2010/3/1	Journal of Asian Urbanism (JAU)	2

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 10 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 2 件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
後期課程 名、前期課程 2 名）、学部生 4 名、留学生 名、研究生 名、
その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 件、学術論文 3 件、国際会議 件、会議報告 1 件、
大学等の報告 件、解説・総説 件、書評 件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	インドネシアにおけるラーマヤナ物語再解釈：R.A.コサンのコミックを事例として	福岡まどか	2009/5/1	東南アジア 歴史と文化	38 号 106-140 頁
学術論文	ジャワ島の舞踊劇スンドラタリ sendratari におけるラーマヤナの内容と提示方法	福岡まどか	2009/8/1	東洋音楽研究	74 号 109-121 頁
学術論文	Transmission of skills: A case study of the Cirebonese masked dance	Madoka Fukuoka	2010/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第 36 巻

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： _____ 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 2 件、学術論文 2 件、国際会議 3 件、会議報告 3 件、大学等の報告 _____ 件、解説・総説 _____ 件、書評 _____ 件、その他（ 翻訳 1 件 _____ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「離散と集合の雲南ムスリム：ネーション・ハイブリディティ・地縁血縁としてのディアスポラ」臼杵陽・赤尾光春・早尾貴紀編著『ディアスポラから世界を読む』	木村自	2009/7/1	明石書店	220-257
著書	臺風雑記——百年前の台湾風俗	佐倉孫三(三尾裕子監修)	2009/12/1	東京外国語大学アジアアフリカ研究所	
著書	「雲南ムスリム移民が取り結ぶ社会関係と宗教実践の変容——台湾への移住者を中心にして」塚田誠之編『中国国境地域の移動と交流——近現代中国の南と北』	木村自	2010/3/1	有志舎	179-207
学術論文	虐殺を逃れ、ミャンマーに生きる雲南ムスリムたち：「班弄人」の歴史と経験	木村自	2009/12/1	アジア遊学	129
学術論文	Analyzing the Image of Yi di through the Interpretation of Spirit Possession and Otherness among Yunnanese Muslim Migrants in Myanmar	KIMURA Mizuka	2010/3/1	Cultural Reproduction on its Interface: From the Perspective of Text, Diplomacy, Otherness, and Teas in East Asia	The International Academic Forum for the Next Generation Series. Vol. 1. p. 103-113
国際会議 (proceedings あり)	Marginality as a Strategy on Myanmar-China Borderland: A Case Study of Yunnanese Muslim Migrants in Postcolonial Myanmar	木村自	2009/8/1	The International Convention of Asian Scholars 6, at Daejoen Convention Center, Daejoen, Korea	

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
国際会議 (proceedings なし)	Social Memories of Migration as a Strategy for Identification: A Case Study of Yunnanese Muslim Migrants in Postcolonial Myanmar	木村自	2009/7/1	Society for East Asian Anthropology at Academia Sinica, Taipei, Taiwan	
国際会議 (proceedings なし)	フエ旧外港フオンヴィン社における中国系リネージ(家族)の移住史と祖先祭祀	木村自	2009/7/1	学術シンポジウム:フエの文化と歴史:周辺集落と外部との関係からの視点より	
会議報告/口頭発表	離散と集合の雲南ムスリム——ネーション・ハイブリディティ・地縁血縁としてのディアスポラ	木村自	2009/6/1		
会議報告/口頭発表	主体化の複数性としてのディアスポラ——雲南ムスリム移民を事例として	木村自	2010/1/1		
その他	乳扇物語——離散する雲南人と国境を越える食	木村自	2009/7/1	Reflection 4, ICIS Newsletter, Kansai University	vol.4, p.11
その他	Report on the International Convention of Asia Scholars 6	KIMURA Mizuka	2010/3/1	Journal of Cultural Interaction in East Asia	Vol. 1 109-111
その他	宗教の比較研究における相対主義の問題について	ジョセフ・ボスコー(木村自翻訳)	2010/3/1	文化交渉による変容の諸相	関西大学文化交渉学教育研究拠点次世代国際学術フォーラムシリーズ 第2輯, 26-49

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 1 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査_____件、副査_____件）、修士（主査_____件、副査_____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名、副指導教員：後期課程_____名、前期課程_____名）、学部生_____名、留学生_____名、研究生_____名、その他（ _____ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書_____件、学術論文_____件、国際会議_____件、会議報告 12 件、大学等の報告_____件、解説・総説_____件、書評_____件、その他（ _____ ）

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 5 科目
 ② 学位論文審査： 博士（主査 件、副査 件）、修士（主査 件、副査 1 件）
 ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程 名、前期課程 名、副指導教員：
 後期課程 1 名、前期課程 3 名）、学部生 名、留学生 4 名、研究生 名、
 その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書 1 件、学術論文 1 件、国際会議 2 件、会議報告 6 件、
 大学等の報告 1 件、解説・総説 件、書評 件、その他（翻訳 2 件 11 章）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「大阪大学チューターハンドブック」	近藤佐知彦、 山本ベバリーアン監修、渡部留美、流川冬子	2009/4/1	大阪大学留学生センター	
著書	Meeting the Challenges of Elderly Care: Japan and Norway	Saito Yayoi ed., Beverley Anne Yamamoto (Trans)	2010/3/1	Kyoto University Press/ Trans Pacific Press	58-87、 124-147
学術論文	A Window on Trends and Shifting Interpretations of Youth Sexual Behaviour: The Japan Association of Sex Education's 'wakamono no hakusho' reports 1975 to	Beverley Anne Yamamoto	2009/12/1	Social Science Japan Journal	12(2)
大学・研究所等の報告	Learning from Others: A Report on Two Arts-based All-English Bachelor Programs in Japan	山本ベバリーアン	2009/12/1	『留学生 30 万人時代にむけて：世界の大学国際化・留学生の動向と大阪大学の国際戦略』	

所属： 学生支援室 氏名： 丸田 健

(1) 平成 21 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

- ① 担当授業科目数： 4 科目
- ② 学位論文審査： 博士（主査____件、副査____件）、修士（主査____件、副査____件）
- ③ 指導学生数： 大学院（指導教員：後期課程____名、前期課程____名、副指導教員：後期課程____名、前期課程____名）、学部生____名、留学生____名、研究生____名、その他（ ）

(2) 平成 21 年度の研究活動に関する以下の項目をについて記述して下さい。

- ① 研究業績の公表： 著書____件、学術論文 1 件、国際会議____件、会議報告____件、大学等の報告____件、解説・総説____件、書評____件、その他（ ）

(3) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	「魂に対する態度—他者とのかわり・自然とのかわり—」	丸田 健	2010/3/1	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	第 36 巻

(1) 著書・論文

分類(著書 ・学术论文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 ／掲載誌	巻号頁
著書	大学に共有の空間をつくる	久保田みお	2010/3/1	インパクト出版 会『インパクショ ン 173号』 P104-110	

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
著書	「4. メディア・イベント ダヤーン／カット『メディア・イベント』井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス 第6巻 メディア・情報・消費社会』	古川岳志、他	2009/10/1	世界思想社	
学術論文	女子競輪とその時代一元選手のライフヒストリーから	古川岳志	2010/3/1	日本学報	29号、p83-104.
会議報告/口頭発表	女子競輪を通して考える女性プロスポーツの課題と可能性～GIRL'S KEIRINという「実験」を中心に	古川岳志	2009/5/1		
会議報告/口頭発表	女子競輪(1949～64)の歴史・再考一元選手のライフヒストリーから	古川岳志	2009/7/1		
会議報告/口頭発表	海は誰のものか～コモンズ論から考える大阪港釣り禁止問題	古川岳志	2009/12/1		

(1) 著書・論文

分類(著書・学術論文等)	書名／論文タイトル	著者名	発行年月	発行元／掲載誌	巻号頁
学術論文	"Exhibition as Proposition: Responding Critically to The Third Mind"	Hiroko Ikegami, Seth McCormick, Reiko Tomii, Midori Yoshimoto	2009/9/1	Art Journal	vol. 68, no. 3
学術論文	世界美術史の見地から戦後アメリカ美術の台頭を考える	池上裕子	2010/2/1	美術史論集	第10号、31-47頁
学術論文	ROCIプロジェクトにおける現代美術のグローバルモデルとその功罪	池上裕子	2010/3/1	グローバルCOEプログラム「芸術におけるコンフリクト」報告書	
国際会議 (proceedingsあり)	ROCI in East: Considering Rauschenberg's Agency in China	Hiroko Ikegami	2009/10/1		
会議報告/口頭発表	戦後の国際美術シーンにおける日本美術の展開とジョン・D・ロックフェラー3世の役割	池上裕子	2009/5/1		
会議報告/口頭発表	ROCIプロジェクトにおける現代美術のグローバルモデルとその功罪	池上裕子	2009/10/1		
会議報告/口頭発表	オーラル・ヒストリー・アーカイヴの構築と利用の実践について	池上裕子	2009/11/1		
会議報告/口頭発表	ロバート・ラウシェンバーグと現代美術のグローバル化	池上裕子	2009/12/1		

(1) 著書・論文

分類(著書 ・学術論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	発行元 /掲載誌	巻号頁
学術論文	Implied motion because of instability in Hokusai Manga activates the human motion-sensitive extrastriate visual cortex: an fMRI study of the impact of visual art	Osaka, N., Matsuyoshi, D., Ikeda, T., & Osaka, M.	2010/3/1	NeuroReport	Vol.21, pp.264-267.